大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 夕刊 十二月二十五日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二〇〇 營業局專用(3)三〇五
發行人 松本榮 編輯人 河内之介 印刷人 水越忠勇

我が猛撃に耐へかね 敵の一萬敗走中
杭州攻圍軍意氣衝天

【杭州廿四日發國通】黃紹雄および張發奎の指揮する杭州の敗殘兵約一萬は三方面よりする我が攻圍軍の急追猛擊に耐へかね錢塘江對岸以南に敗走中である

池冀東政府長官 日本側公文交換
＝通州事件全く解決す＝

【北京廿四日發國通】未曾有の慘事として世人の記憶新たなる通州事件解決に關しては冀東政府長官池宗墨氏と日本大使館森島參事官との間に折衝が行はれてゐたが、廿四日午後四時半池宗墨氏は北京大使館内に森島參事官を訪問、公文を手交して正式に陳謝の意を表し、將來の保障ならびにこの事件による被害者に對する弔慰賠償金を手交し、森島參事官より右に對する回答文を手交、こゝに同事件は全く解決を見るに至つた、交換公文全文ならびに大使館當局談左の如し

▲冀東政府池長官より森島參事官宛書翰

書翰を以て啓上致し候陳者本年七月廿九日通州において冀東政府保安隊の叛亂勃發し多數貴國人を殺傷し、且つ貴國人所有の財產に尠からざる損害を與へたる不幸な事件發生致し候處、右に關し本官は責任の重大なるを痛感し茲に冀東政府を代表し貴國政府に對し愼重なる陳謝の意を表し候、冀東政府は事件の責任者及び加害者を嚴重處斷する意向なるところ、右關係者は既に辭任または逃走し、若くは貴國軍により討伐せられたるをもつて最早處分の法無之次第につき右事情御諒承相度又將來決して再びかゝる不祥事件を發生せざるやう誓つて萬般の措置を講ずべく候冀東政府は死者および負傷者に對し夫々弔慰金および見舞金を贈呈し、且つ物的損害につき相當の賠償を支拂ふべく右總額として金百二十萬圓を提供し度につき貴官において然るべく分配方御取扱ひ相煩し度、右に御異議なきにおいては前記金額中金四十萬圓は直ちに御送附致すべく、殘額金八十萬圓もなるべく速かに調達の上御送附申上ぐべく候なほ本事件による犧牲者のため慰靈塔建設敷地提供方御要求の次第も諒承致し候については速かに雙方代表者會同實地踏分の上協議決定の事と致し度く候、右に關し何分の御回答を得度候旁々本官は茲に重ねて貴官に向つて敬意を表し候 敬具

中華民國廿六年十二月廿四日
冀東防共自治政府代理政務官 池宗墨
日本帝國大使館 在中華民國 參事官 森島守人閣下

▲森島參事官より冀東政府長官池宗墨氏宛返翰

書翰を以て啓上致し候陳者本年十二月廿四日附貴翰をもつて御照會相成候事諒承致し候、よつて本官は貴官申出での次第受諾、貴政府において貴官記載の各項を誠實に示された上は本事件は解決を告げたるものと認め候右回答旁々本官は茲に重ねて閣下に向つて敬意を表し候 敬具

昭和十二年十二月廿四日
在中華民國日本帝國大使館參事官 森島守人
冀東防共自治政府政務長官 池宗墨閣下

△大使館當局談

通州事件解決方に關しては先般來大使館と冀東政府との間に折衝を行つてゐたが、關係各機關の協力の下にこの程話合成立し、冀東政府池長官は同政府を代表して十二月廿四日北京に森島參事官を訪問、深く陳謝の意を表するとゝもに、公文を手交し各遭難者に對し總額百二十萬圓をもつて弔慰金および見舞金を贈り、財產上の損害を賠償すべく、慰靈塔の敷地も提供すべき旨を誓約するところあり、右に對し森島參事官は回答文を手交し池長官申出での次第を諒承、同政府が申出での各項を誠實に實行せられたる上は通州事件は解決したものと認むべき旨を傳へ、茲に本事件は結末を告げるに至つた なほ前記百廿萬圓中四十萬圓は池長官より森島參事官に手交したが、金額の各人に對する割當については同政府の依賴に基き目下大使館に於て各種資料を蒐集研究中である

パネー號事件 正式回答文決定
＝外務省概要を發表＝

【東京國通】パネー號事件に關する帝國政府正式回答文は廿四日の閣議で正式決定、同日午後七時廣田外相よりグルー大使にこれを手交、本國政府へ傳達方を要請したが、外務省では午後八時左の如く回答文の概要を發表した

▲外務省發表 本月十二日南京上流約二十六浬の揚子江上に於て帝國海軍飛行機が過誤により米國軍艦パネー號及び米國スタンダード石油會社所有船三隻に對して攻撃を加へ沈沒又は火災を起さしめ其際乘員に死傷者を生ぜしむるに至つたる不幸なる事件については既に十四日附公文をもつて申進めの次第にこれあるところ殆んどこれと時を同じうして貴翰をもつて米國政府御來訓に基き閣下より今次事件發生に至るまでの事情を縷述せられたる後問題の攻撃事件における日本軍の行爲は米國の權利を全く無視してなされ米國々民の生命を奪ひ且つ米國の私有財產を損壞したるものなりと斷定せられ、斯の如き事實に鑑み合衆國政府は帝國政府の正式書面による遺憾の意を表明完全且つ充分なる賠償の支拂をなす旨の約束ならびに今後支那にある米國國民および米國の利益ならびに財產が武裝日本軍の攻撃若くは一切の日本官憲又は日本軍による不法なる干涉を蒙ることなかるべきを保障すべき確定的且つ特定的措置が執られたりとの保障を要求且つ期待す旨御申越相成りたり、今次不祥事件の發生するに至れる經緯に關しては日本軍が貴國權利を無視したる結果なりと御斷定の次第なるも、その全く過誤に基くものなることは前記本大臣文中に說述したる通りにして帝國政府は右公文發送後も尚凡有る手段を施して眞因の究明に努めたる結果全然故意に出でたるものに非ざる次第判明するに至りたることは二十三日わが海陸軍官憲より貴大使に對してなしたる說明により御諒解相成りたる儀と確信するものなり、貴官御要求中の二項即ち書面による表謝並に損害の補償については既に前記拙翰中に表明したるところをもつて盡くべき處、今後の保證については帝國海軍に於ては當時時を移さず「米國及びその他第三國軍艦その他の船舶の存在する地域に於ては最大の注意をもつて絕對に今回の如き過誤を繰返さざるやう努むべき」事を嚴に通達致し置きたるが尚更に出先陸海軍並に外務官憲に對し既に從來屡々通達しありたる通り米國その他第三國の權益財產を攻撃すべからざることについては今回の不祥事件に鑑み一層の注意を加ふべき旨重ねて嚴命を發せる次第なり、而して之等の目的達成を一層有效ならしむべき一切の手段に關し愼重なる考究を重ねこれが實行を期しをる次第にして即ち貴國權益及び居留民の所在等に關しては更に貴方と充分連絡の上調査を進めると共にこれが出先官憲の通達を期し迅速有效なる通信法に就いても一段の工夫を加へたる次第なり、また前に述べたる通り右米艦船攻撃は過誤に基くものなりと雖も充分注意を拂ふ點において缺くるところありたるの理由により關係者に對し夫々必要なる措置を行ひこの種過誤の絕無を期したる次第なり、以上述べたる如く帝國政府に於て速かに適當なる措置を執りたることは全く帝國政府が米國並にその他第三國の權益を保障せんとするの誠意に出でたるものなることは閣下に於て篤と御諒承相成ること〻信ずるものなり

各地戰況 (廿五日朝まで)

▲中南支方面 敵都南京を一擊のもとに屠り、鉾を錢塘江々畔に轉じたわが精鋭は、東、西、北の三方より猛進をつゞけ、廿四日午前八時寒風を衝いて、遂に南宋の古都杭州城に雪崩れ入り城頭高く日章旗を飜した、支那軍は算を亂して錢塘江を渡つて南岸へ潰走してゐる、皇軍各部隊は痛烈無比なる追擊戰に移り、空軍亦これに協力して蕭山附近陣地に巨彈の雨を降らせ、今や錢塘江々畔に壯絕なる殲滅戰が展開されてゐる

▲津浦、京漢線方面 白雪に鎖された大黃河に沿ふ蜿蜒百數十里に亘る大戰線の無氣味な靜寂は津浦線方面より漸く破られ、皇軍部隊は濟南、青島方面の山東軍掃蕩を期して意氣軒昂たるものがある、一方山西高原に駒を進めた皇軍は未だに執拗なる抵抗をなす共產軍の一擧潰滅を期し廿二日楡次東方地區の道坪鎭附近に於て約四千の共產軍を包圍しこれに全滅的打擊を與へた

康德五年度豫算

康德五年度豫算は本月二十五日の國務院會議に上程、引續き二十七日參議府會議の批准を經て公布の豫定であるが、その內容は次の通りである

一般會計
歳入出 二〇四、五五五、〇〇〇圓

特別會計
歳入 一、一二八、九三六、八二八
歳出 一、〇八八、五七三、三一八

各部所管

部	區分	金額
帝室費	經常部	二、一〇〇、〇〇〇圓
	臨時部	
	合計	二、一〇〇、〇〇〇
總務廳	經常部	三三、七〇三、五七〇圓
	臨時部	六九、四七四、四三四
	合計	一〇三、一七八、〇〇四
▲治安部	經常部	六七、三一〇、〇二一
	臨時部	四四、五九四、六四八
	合計	一一一、九〇四、六六九
▲民生部	經常部	七、六六七、七〇七
	臨時部	七、二六九、七〇八
	合計	一四、九三七、四一五
▲司法部	經常部	一〇、七九六、六〇九
	臨時部	七四三、四八一
	合計	一一、五四〇、〇九〇
▲產業部	經常部	五、八五九、三五一
	臨時部	六、一八二、六二五
	合計	一二、〇四一、九七六
▲經濟部	經常部	一四、九三四、一三五
	臨時部	二二、一〇八、一三五
	合計	三七、〇四二、二七〇
▲交通部	經常部	一、二七四、七八八
	臨時部	一〇、五三三、八〇八
	合計	一一、七九七、五九六
總	經常部	一四四、六五九、〇四一
	臨時部	一六〇、八九六、九五九
	合計	三〇五、五五五、〇〇〇

矢田參議 廿七日離京

前參議矢田七太郎氏は廿七日午後二時十分發あじあで離京大連經由廿八日のうすりい丸で歸國する

外交經濟事務掌理の 内閣直屬中央機關設置
帝國對支方策の骨子

【東京國通】廿四日閣議で根本方針を決定した北支經濟開發を中心とする對支方策の骨子はつぎの如くである

△北支經濟開發

一、鐵道、港灣、治水、鹽業鑛山、通信、電力等の重要產業については特殊の統制(持株)會社を新設し、その下に子會社を置いてその開發に當らせる、但し右會社の設置は戰局の一段落後とし具體案は委員會を設けて研究する

一、その他の諸開發たる棉花羊毛、紡績等は一定の企畫のもとにこれを自主統制とし民間の積極的進出を認める

一、過渡的方法として滿鐵、興中公司等の進出は既成の事實を認めてその資本、人ならびに技術等を有效に使ふ方法を考究する、但し滿鐵乃至興中公司の現在の名目はこれを認めない

△上海方面善後措置

一、上海方面では治安の恢復に伴ひ支那人間に上海の東部吳淞方面に大上海都市を建設すべしとの議が擡頭、その具體化の準備が進められてゐるが、帝國政府としてはこれに對し充分協力して北支ならびに上海方面の治安恢復と北京における中華民國臨時政府樹立及び南京における親日政權の樹立の機運等により政治的、經濟的に日支提携の具體的成果は着々その實現を見んとし、わが政府としても對支關係事務は輻輳を極めるものと豫想され、この新事實に伴つて對支外交、經濟事務を掌る獨立した內閣直屬の中央機關の設置は當然必要視されるところとなつたので、近衞首相は企畫院總裁を中心に關係閣僚の手許でこれが對策を考究せしめること〻なり、近くその實現を見るものと期待されてゐる

北支交通政策
滿鐵の要望を可及的に實現・帝國政府の根本方針

【東京國通】北支經濟開發に關する我が國の根本方針は廿四日の閣議において決定を見これによつて滿鐵の主張する滿洲および北支鐵道を滿鐵の手によつて一元的に經營せんとする北支對案は一應葬り去られるに至つたが、政府においても北支における現狀に鑑み尠くとも北支鐵道に關する限り滿鐵の人的、技術的組織經驗を無視するを得ないので今後滿鐵當局と折衝を重ね滿鐵の要望するところを可及的にとり入れてゆく方針であり、また滿鐵としても具體的方策に關して實質的に滿鐵の主張を實現せしめ得る餘地があるとなし、政府當局との今後の折衝に囑望し、その推移を比較的に樂觀視してゐる、よつて滿鐵としては北支交通政策の確立は最も緊急を要する問題であるとの見地から出來得れば年內にでも政府當局と右につき折衝を開始したき意向を有してゐる

松岡總裁語る

【東京國通】北支經濟開發に關する政府の根本方針決定について松岡滿鐵總裁は廿四日午後東京支社で左の如く語つた

今日の閣議の模樣については未だ詳しく聞いてゐないが、大體豫想されたところへ落着いたものと思ふ、問題は今後の實行方策如何である、滿鐵としては北支における實情を參考にして北支における滿鐵の役割につき今後政府當局と折衝して行く方針であるが、年內に歸任するかどうかは未だ決つてゐない

人事往來

着京

▲松原梅太郎氏(圖們稅關長)二十四日來京ヤマトホテル ▲大本民房氏(會社員)同 ▲松田正綱氏(官吏)同 ▲小野廣好氏(東洋大學教授)同 ▲本多喬行氏(辯護士)同國都ホテル ▲廣澤行雄氏(大倉土木)同中央ホテル ▲伊東盛一氏(大阪朝日)同 ▲上林秀正氏(商業)同 ▲永井龍一氏(教員)同向陽ホテル

その日〳〵

□杭州占領既に成り萬歲の聲西湖を震撼す、江南の野は斯くて明朗の新春を迎へる

□北支には新民會生れ、新生支那のための創意溢るゝ綱領が掲げられた

□事多かつた大陸のこの一年が顯著な飛躍を見せて、更に新しい段階に進む

□クリスマス專らネオン街に賑はつて、逝く年の暮を多彩にいろどる

□歲末賣出しの旗が、凍つた街に搖れてみると一週間のゴールへ相競ふ

青春の宿 (八一)
須藤鐘一作 柴谷宰二郎畫 (東上映 上演)

父と子(六)

『ほかの娘ではいけないのか……耀子さんより、もつと美しい……もつと、やさしい娘さんでも、いけないのか』

『耀子さんより、美しい娘さんつてあるもんですか』

『しかし、世の中は廣いからね……いくらでもゐるよ』

『ゐたつてだめです――耀子さんでなけりや……耀子さんでなけりや……あゝ僕はもういきてゐたくない……』

『よし〳〵』

岡見は、金之助の肩をやさしく抱擁した。

『そんなにいふなら、ひさつお父さんから耀子さんのお父さんにかけ合つてみてやらう……』

『耀子さんのお父さんに?』

『さうだ』

『それは、駄目です――耀子さんが、僕とは結婚しないつていつたんですから』

『いや、駄目なことはない。お父さんが承知さへしたら、耀子さんもいやとはいはないよ』

『ほんさうですか』

『ほんさうだとも……だから安心しておいて……』

『でも……耀子さんのお父さんが、いやだつていひませんか』

『まあ、いはないだらう――金之助』

さ、さびしく微笑して

『お前の爲には、お父さんはどんなことでもしてやるよ……だから、安心しておいて……』

金之助はいまゝでないてゐた顏をにこ〳〵させて

『いつ、耀子さんのお父さんに話しをしてくれるんです、あすですか』

『あすといふわけにはいかない……なにしろ、向ふは喪中だからね……まあ、出來るだけは早く、初七日でも濟んだら、行つて話をしてみてやらう……だからそれまで、安心して待つてゐるのぢやよ』

『……』

『いゝね……それから、お前はひるから、御飯をくはないさいふぢやないか……いま、めしを持つてこさすから……おかゆがいゝかね』

『うゝん。めしがいゝ……腹がすいちやつた』

『さうか――では……』

悴の部屋を出た岡見は、女中に食事をはこぶやうに命じてをいて居室に引き返すさ、何か、部厚い書物をしらべてゐたが、やがて電話の受話器をさつて呼びだしたのは北濱の北臺造の店だつた。

北臺造――諸君は、この名を記憶してゐられるであらうか。

かつて、耀子が、油谷株式店の倅滿美に、日の丸百貨店の株を買つてくれと依賴したさきに、滿美の口から出た名だが、昨年末、北臺造の店がつぶれたのを、岡見が、出資者となつて盛りたて、現在では、北をロボットさして、岡見が實權を握つてゐる株式取引店だつた。

『北君かね――わしぢや。岡見ぢやがね……大關西電力の株を出來るだけ多く買ひしめてくれんか……いや、實物がゐるんぢや――』

× × ×

大關西電力は、林田銀平の社長をしてゐる會社だ――

『ミネは、まだ歸つてこないの?』

『はあ……』

『遲いねえ、もう、十二時半ぢやないか……』

こゝは、生駒山麓の大原東城邸――例の大原一味の本據だ。

聖夜寒し、零下卅二度
まさに近年の　レコード破り
朝來市公署にSOS

水道管の破裂で

クリスマス・イヴの夜はボーナス景氣名殘りのメートルをあげる若人の群で深更まで賑はつてゐたが、クリスマス・トリーのテープが裂け綿の雪が散つて醉ひが醒めてくると共にひしひしと寒さが身にこたへて來た、それも道理廿五日午前三時は零下卅二度一分といふ氣溫を示してゐるのだ此の卅度を遂に突破した數字は本年冬季に入るに及んでのレコードで有るばかりでなく昨冬を通しての最低溫度本年二月十二日の零下廿九度八分を遙えてゐる、日の出時刻午前八時十一分近く漸く廿四度一分に上昇して來たが、さて醉醒めの水を一杯と水道の栓をひねつたが凍つてしまつて一滴も出ない、中には水道管が破裂してしまつた所も有つて市公署の水道係には電話が朝來絶間無くかゝつて來て修繕に工夫總動員で目の廻る様な忙しさだ

水道科から注意

零下三十二度一分眞に水銀柱も凍る様な酷寒の底をつくと市內各所より水道の故障續出してゐるが、市公署水道科では水道故障に際し一般市民に左の如き注意を發した

康德四年十二月二十九日より康德五年一月三日迄の期間は左記定期休日に付水道故障は左記電話を以て申込下さい

舊市街　市公署水道科　（二）一一一〇
　指定請負人大信洋行　（二）一一八七八
舊附屬地綜合事務所　（二）一二九五四
　　　　　　　　　　（三）一六九九〇
　指定請負人千々岩工務所　三一五九一〇

追て移轉、旅行其の他の都合に依る不在となる際は留守中水道管凍結の恐れがありますから特に御注意の上一時中止方申込み置かるゝ様にして下さい

兩反日團體の恐るべき陰謀暴露す
滿洲國司法史上特筆すべき事件

滿洲事變以後北京、上海に設立されたる抗日救國團體は失地回復を目標に執拗な策動を續け滿洲國內不逞分子と結合し、不祥事件を惹起してゐたが、建國後六年大體かゝる不逞分子も整理されてゐた矢先鮮滿國境地帶安東を中心に强力な抗日團體が組織され、支那事變勃發と共に鴨綠江鐵橋の爆破、安奉線破壞による軍事輸送の阻止のテロ工作を企てた不逞分子の存在が發覺し當局の活躍によつてそれぞれ處分された、事件の核心は北平抗日救國團の一派が安東において結合し、後方攪亂のテロ工作に着手せんとしたこと、日滿兩國の政情、軍情が支那側本部に筒拔けになつたことで、その全貌左の如くであるが、この事件は二つの大きな示唆を投げてゐる、即ちその一は從來東邊道が匪賊共產黨の溫床であり貯水池であつた事實が具體的に證明されたことであり、その二は本事件が安東檢察局、地方法院において審理され處刑されたことでこのことはとりも直さず滿洲國司法權の確立を物語るものであるところに重要性があるのである

後方攪亂のため　テロ工作に活動

事件の發端は本年八月十八日激越な反滿抗日を標榜する謄寫版刷りの宣傳狀が安東省の滿人大官約三十名に發送されたことにはじまる

この宣傳狀を受取つた賓安東省長はかゝる不心得者の存在することにカンカンに憤慨し直ちにこれを所轄當局に移牒したことにはじまる、報告を受けた安東警務機關は、これより曩前年の救國會事件の殘黨が最近蠢動しつゝあることを探知し、內偵中であつたので、直ちに全市にわたつて捜査の步を進め筆跡鑑定その他の方法により極力犯人檢擧に努めた結果、將に英國系怡隆洋行所屬船によつて青島、上海に脫出せんとする左記十一名を檢擧した

△北平抗日救國鐵血團系首魁　楊樹德、柳金生、趙國端、隋洪福、邢漢章
△上海抗日救國會系首魁　翟兆榮、趙培春、張世英、崑顯章、曲世田、鐘振三

鐵血團首魁楊樹德は事變勃發後河北省都山縣城外湯通河子の抗日救國鐵血團において反日訓練を受け、大同二年五月安東に歸り滿洲國の政情、軍情を探つて逐一本部に報告すると共に專ら反日的思想の普及宣傳に努め又滿洲國官吏の背反工作に努力し「反日、打倒日本、收復東北失地」を强調する傳單を民衆に撒布し反日工作に活動してゐるうち上海救國會系の翟兆榮（營口出身）一派と知り遂に兩派結合して策動を續けるうち本年五月日支開戰不可避なるにより極力日本軍の後方攪亂に努力すべき旨の指令に接し、以來民衆の蜂起滿系官吏の背反に全力を傾注してゐたもので一味は事件の進展と共に更に新たなる指令を受くべく支那に脫出せんとする矢先を檢擧されたものである

兩首魁は　死刑

九月十八日より廿八日に至る十日間に一味の檢擧に成功した當局では直ちに取調べを行つた結果前記の罪狀明白となつたので暫行懲治叛徒法違反として十一月廿五日安東地方檢察廳に送局した、檢察廳では事件の重大性に鑑み川又奉天高等檢察廳次長、鈴木奉天地方檢察廳次長、渡邊撫順同野見山遼陽同の應援を求め下條檢察廳次長主任となり審理の結果以上の犯罪事實が明白となつたので十二月二日起訴公判を請求した、よつて安東地方法院では玉井奉天高等法院次長、福島同庭長、渡邊撫順地方法院次長等の應援を求め、玉井次長審判長となり十二月十六日より審理に入り十八日まで審理を續行、同夜九時有罪の結審を見、廿一日遂に楊、翟の兩首魁は死刑、その他は十八年乃至五年懲役の判決言渡しがあつて事件は一段落を見るに至つた

滿映　北京に出張所を新設

滿洲映畫協會では北京新政權出現に伴ひ北京に出張所を新設　小林庶務課員、黑川企畫課員其他約十餘名は二十五日午後二時十分發あじあで出發したが同協會の今後の活躍は期待されてゐる

昭和十二年を顧みて（二十五）
完璧の陣容整備　要は今後の運行
衛生その他の業績

衛生

醫務股關係では「健康なる身體は先づ警官から」モットーのもとに三月十五日より十五日迄廳員の健康診斷を爲し、四月十日より十五日迄には醫師法、漢醫法公布に伴ひ從前業者を召集し制定の趣旨其の他の指示を設示、五月一日より同月末日迄斯業の權威者に依賴し業支組合の講習會を開いた、十一月十二日より三十日迄半月に亘り接客業者の健康診斷をなし公衆衛生の萬全を期し、更に醫師、漢醫、齒科醫師、藥劑師法等公布に伴ふ從前業者を召集し手續きを爲さしめ之に伴ふ施行細則等を起案實施し一通り整備の形を整へた、衛生股關係では本年初頭衛生デーを設け月一回保甲を主體とし衛生思想の普及徹底を圖り六月二十三日より展覽會、施療施藥、優良兒童の表彰、檢痰を實施等賑々しく宣傳滿人衛生思想の普及を圖つて大いに好果を收めその他春、夏、秋の三期に亘り飮食物一齊取締りを爲し保安と協力のもとに飮食物の一齊取締、浮浪者の取締、精神病の取締等警衛警備に大いに力瘤を入れ目下麻藥斷禁政策に副つて主管市公署と協力のもとに阿片零賣所の公營に關し調査を進めてゐる、防疫股關係では市外の開業漢醫を人選し本廳に於て講習を爲し春期種痘實施、同樣秋季種痘も實施、春秋清潔檢查、七月には双城堡にアミーバ赤痢發生罹患者三六七名にも達し本廳及び長春縣公署員聯合で必死の防疫陣を張り九月より京白線沿線に發生したペスト防疫の爲磯部博士、大久保巡官が現地調査を爲し國都を取りまく陸路五ケ所に監視所を設け日本側各衛生機關と協力して病菌の國都侵入を完全に封じた畜務關係では長春縣下小合隆双城堡、卡倫に屠場を設置の許可申請中のところ正月認可となつたので本廳より技術員を派遣し、牛乳檢查は每月實施し品質の向上に努め十月十一日より牛結核檢查を實施、その結果不良牧場施設を全面的に改善をみた、犬病豫防としては注射、野犬捕獲を實施その他に見のがしてならないことは巡回家庭衛生指導班を結成「衛生思想普及は家庭から」のモットーのもとに國都市民の衛生相談相手として衛生思想普及向上に積極的に働きかけんと十一月初旬指導班員を人選日本人二名滿人四名のインテリ女性を募集し爾來衛生技術廠に於て研究目下化學檢查、細菌檢查の研究に沒頭してゐる彼女等は來るべき日の大任を自覺し孜々として研究を進めてゐるがその眞劍な態度には淚ぐましいものがある、大體本年內には基礎醫學を終了明年引續き臨床醫學を研究の上衛生指導官ともいふべき知識を充分養成されて來春三月から愈よ社會に送出され活動を開始する段取りとなつてゐる

警務、特務

警務、特務は他の各科（保安、司法、衛生）の如く所謂表面に表はれた華々しい活動はしてゐないが、兩科ともいはゞ警察の頭とも稱すべき部門で、警務は治廢に伴ふ人事異動をやつてのけたが前に述べたから省略する、特務の活躍は多く秘密潜行的で發表は出來かねるがそれでも治廢、獨伊の滿洲國承認それに今次の支那事變等々對內的、對外的の重大問題に際し民衆の動向、反響の調査等に如何に働いたか想像に難くない

──○──

最後に關東局、大使館關係より多數の優秀日系官吏を迎へて首都警察廳の屬人的、合理的人員配置はこゝに全く完成され、關口副總監をして「これで漸くほつとした」といはしめたが未だ何といつても日滿兩警察官が一つの釜の飯を食ふ樣になつてから日尚淺い、幾分混合の氣味あるは無理もないなれど遠からず日本でもない滿洲でもないぴつたり化合した渾然一體の警官精神がそこに出來上ることを信じて疑はない、最後に「形の上の撤廢は何時でも出來る、要は運行の問題であると同時にその困難性はこれから現れるものであることを覺悟せねばならぬ」ことを當局者に呈言し首都警察廳の發展を祈らう

內蒙の豹　李守信將軍
けふ颯爽國都入り

蒙疆代表德王一行と奉天に落合ひ來京の豫定だつた蒙疆自治政府聯合委員會から滿洲國に派遣された武勳の李守信將軍は一足遲れて二十五日朝午前八時の列車で治安部皆藤顧問外多數の歡迎を受けて當京總務廳差廻しの自動車で直ちに德王等の宿舍である國都ホテルに入つたが北支事變に於て暴支軍閥の心膽を寒からしめた將軍だけに豹の樣な精悍な態度、來京の感想をとの質問に簡單率直左の如く述べたきりである

今度の蒙疆自治政府の樹立に際しては日本帝國に非常に厄介になつた、今度新京にやつて來たのは吾が自治政府の發展振りをお傳へに來たわけである、滿洲國の發展振りは全く驚嘆の他はない、御同慶に堪へない

尚李將軍滯京中は德王一行と同樣行動をとり同道で歸蒙の豫定である

德王、李將軍ら　軍司令官訪問
午後は國都建設狀況を視察

國都訪問の蒙疆聯合委員會代表德王一行は今朝來京の李守信將軍を加へ松井張家口特務機關長、金井蒙疆聯合委員會最高顧問を同道、午前十時四十分國都ホテルを出發、關東軍司令官々邸に植田軍司令官を訪問、德王より蒙疆三自治政府成立について皇軍の援助に對し、深甚なる謝意を表し植田軍司令官より三自治政府の誕生と今度の國都訪問に對して祝辭を述べるとゝもに今後自治政府の善政により蒙古民族の安定と日、滿、蒙相提携して東洋平和の確立に邁進せんことを希望し、ついで種々歡談の後一行は同十一時廿分官邸を辭去したが、なほ午後二時より市內の見物をなし國都建設狀況の觀察を行つた（寫眞は德王の軍司令官訪問）

客馬車に炭疽と鼻疽

二道河子東盛二道街門牌八十八號客馬車夫安長所有馬一頭廿二日午前一時死亡により首都警察廳衛生科藤本獸醫檢診の結果炭疽と決定、同日午前九時頃東四道街門牌卅四號客馬車夫劉振東（五〇）所有馬一頭死亡、同廳衛生科中野獸醫檢診鼻疽と決定、市公署衛生隊と協力いづれも消毒の上現場において燒却處分とした

大正天皇祭　けふ新京神社で遙拜式

新京神社の大正天皇祭遙拜式は二十五日午前十時から神殿に於て執行、氏子總代長關屋副市長、特別市公署鯉沼財務處長、穴澤、淺井氏子總代等列席、式は型の如く神職の修祓、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠の順序にて滯りなく終了した

新京公學校の繰上げ卒業式
廿七日盛大に擧行

十二月一日より特別市公署に移管された新京公學校の高級第二十三回日語專修第六回卒業式は滿洲國教育年度に合せるため例年の期日を繰り上げ二十七日午前十時から同校講堂に於て擧行することになつた、卒業生は高級百十一名、（內女子二十五名）日語專修科四十六名で兩卒業生のうち上級日滿中等學校に進むもの男女生八十二名の多きに達し滿洲國人の教育熱の旺盛を如實に物語つてゐる、一方就職希望者は既に決定せるもの中銀、司法部、交通部等各官廳を始め未決定のものを加へて五十餘名に上り日本語其他各學科の實力から見て殆んど就職するものと見られてゐる、卒業式次第並に優等卒業生氏名は左の如くである

△式次第　（一）敬禮（二）開式の辭（校長）（三）日滿國歌齊唱（四）詔書捧讀（校長）（五）學事報告（藤井教諭）（六）卒業證書授與（校長）（七）表彰狀及賞品授與（校長）（八）學校長訓辭（九）管理者告辭（十）來賓祝辭（十一）在校生總代送辭（高級一年錢高才）（十二）卒業生總代答辭（蔡長泰）（十三）卒業生保護者總代挨拶（孫化南）（十四）唱歌〃仰げば尊し〃〃螢の光〃合唱（十五）閉式の辭

△優等表彰者▲高級男子　蔡長泰、史春植、劉植田、徐春華、蔡作禮、朱雲、王鴻業、王德璽、李錫本、顧永業、▲同上女子　王桂華、王艷容、徐田、王艷娥、▲日語專修科　劉議玲、趙仲三、李振清、▲學心忠、楊仁起、蘇世德、▲六ケ年皆勤者五名、▲新京教育獎勵會表彰高級二名日語專修一名

首都本部長
橋本氏正式發令

前參議田邊治通氏は退官とゝもに協和會首都本部長の任をも辭したがその後任には參議府副議長橋本虎之助氏を推すことに決定、二十五日發令を見た、橋本氏の首都本部長就任に關する于中央本部長の談話は次の通りである

田邊參議の辭任により缺員中の首都本部長には滿洲建國と協和會の運動とに最も關係の深い現協和會參與橋本虎之助閣下にお願ひしてその承諾を得ましたので本日附をもつて發令することになつた、同氏の御就任により首都本部今後の活動は刮目すべきものと期待してゐる

鐵道警護學院　一月設立

鐵道總局警務機構の接收に基く鐵道警護職員の養成に關しては廿一日の國務院會議において鐵道警護學院設立案を可決、右官制は廿四日臨時參議府會議の諮詢を經たので廿七日公布し康德五年一月一日より實施する事となつた

大朝新舊總局長

大阪朝日新聞滿洲總局新局長伊東盛一氏は前局長木下猛氏と二十五日更任挨拶に來社、木下氏は二十六日午後二時十分發列車で離京赴任

臨時國務院會議

臨時國務院會議は二十五日午後二時より國務院會議室で開催左の各項を可決した

一、康德五年度總豫算案
一、康德五年度各特別會計豫算案
一、人事
　經濟部金融司長　田中恭
　昇敍簡任一等　經濟部金融司長　田中恭
　依願免官

奉天—衣索牛間　バス線運轉開始

鐵道總局發表＝本年解氷期以來運轉休止中の總局自動車線奉天—衣索牛間（五十五キロ）は、廿五日より復舊、從來通り旅客、貨物の運輸營業を開始することになつた

メソヂスト教會

一、日曜學校　午前九時半
一、年末禮拜　午前十時半
　說教「新しきかなを望む」　山口牧師
一、洗禮及入會式
一、愛餐會、禮拜後

日本基督教會

二十六日午前十時四十分クリスマス禮拜
　大いなる歡喜の音信　石川牧師
午後六時半クリスマス祝會　日曜學校

日の出を拜する集ひ

あす日曜日新京日の出時刻午前八時十二分西公園誠忠碑前で市民早起會行事右終つて忠靈塔參拜

あす（廿六日）

▲滿洲、支那事變戰死者慰靈祭午後三時、忠靈塔
▲滑氷競演會
▲臨時列車運轉開始

今晩の主なる放送

▲七・三〇謠曲（東京）梅若六郎▲八・〇五詩吟物語「旌旗堂々」（東京）山田積▲八・二五新日本音樂「管絃組曲」（東京）久本玄智▲八・五五朗讀（東京）法本義弘▲八・五五浪花節「妹の手紙」（東京）宮川左近

映畫半期街回顧

和田郁夫（D）

事變が擴大すると共にニュース映畫の進出が際立つて目覺しくなつた、朝日世界、大毎東日、同盟、讀賣等のニュースは毎週各館の番組には必須なものとなつた、これらのニュースは總て單に生々しいといふだけでなしに美しく巧みに編輯されてをつた。豐劇新京キネマでは「ニュース」劇場を開催したが何れも好評を收め、ニュース映畫に對する映畫大衆の眞劍な關心を物語るものとして注目せられ、興行者自身もニュースに對する認識に訂正を加へなければならなかつた。これと同時に事變を扱つた所謂際物軍事映畫が數多く續出したが、何れも曾ての滿洲事變當時の一聯の作品と同樣低調煽情のみを身上とする愚劣極まるもので識者の顰蹙をかつた。一方洋畫ブロにおいても好んで戰爭ものが取り上げられる傾向が見受けられたが、日本の軍事ものゝ場合と同樣業績は香しいものではなかつた、間に合はせものでわれ〳〵が現實に直面してゐる事變下の氣持にアッピールするものがあらう筈はないのである。現在の映畫大衆のイデオロギーが幾年か前のものである譯はないのに映畫だけが依然として古い境地にあるのは解せぬ話である。事變下にあつて映畫大衆をさうだと納得せしめるだけの作品がどうして日本映畫の中からは生れて來ないのか。本當の意味で國民精神を振起せしめるやうな逞しい作品が生れて來なければいくら映畫界が總動員を叫んだからとて誰も附いて來るものではない際もので音頭をとるにはよく熟考してからやつて欲しい。

さて、さうした要望は今後に繋いでおくとして、事變下における業界は戰時體制への爲替管理の強化により洋畫に對して一巻當り六圓の特別課税が附せられることゝなりちよいと勝手が違つて來た、洋畫專門館など恐ろしくて再映ものなどうつかり揚げられなくなつた、下手に卷數を多くしやうものならフヰルムの往復だけで寫眞代以上になつて仕舞ふといふ、悲鳴をあげて見たがこれはどうにもならなかつたらしい。

それでも、帝キネは强氣に洋畫を揭げて三本立で押していつたが、豐劇は十月逸早く二本立を表明し、これと共に觀覽料の低下を圖つた、普通興行五十錢といふのが標準であつたが、少し量のある作品が揚ると直ぐ料金が釣れ上つた。二本立にしたから大ものでも五十錢といふなら話が判るが、これでは折角の表明ではあつたが些かインチキの嫌ひがないでもなかつた。この點帝都は正直であつた、大ものを組んだら判つきり一圓の料金を取つた、大量番組にも色々あるが、こゝの大貧ゝ楽たらそれこそ掛け値なしの大發であつた、例へば九月下旬の六日間「我等の仲間」が一般受けを危惧されるといふのでこれにメトロの「容龍ける總」を添へた、まだ心配だとあつても一つメトロの「悪魔の人形」を加へて都合三本、然も未だ何んとか組み樣がありさうなものだと言ふ徹底した大もの喰ひであつたが、この強氣の代相企劃も來年からはもう實現しないであらう。無條件にこれを全的に支持する譯ではないが、かうした積極的な方針はまた今後の業界にも少からず示唆するものがあるであらうことを銘記しておきたいのである。

六對一、映畫館向ふに 色物また賑ふ

△……お正月公會堂の演藝陣

師走もあと僅かに六日、戰捷の春を迎へて市内各常設館のお正月番組も決定し一齊に宣傳戰の火蓋を切つたが、これら映畫戰線を向ふに公會堂を根城として六對一の對陣を張らうとするお正月の色もの陣も早くもその陣容を整へ左の如く例年に比して優るとも劣らぬ多彩豪華な放列を敷いた事變下にあつて下半期低調に終始した色ものが新春を迎へて反動的な氣勢を見せるであらうことが豫想せられ、映畫戰線にどこまで肉薄するか興味深い見ものである

▼元旦より五日間 漫才レヴュー團「美鈴會一行」五十余名の一座

▼六日より三日間 喜劇「曾我の家新左衛門一行」

引續き豫定されて居るレビュー團「日東歌舞劇團一行」八木節元祖「堀込源太一座」十六日より二日間名浪曲「宮川左近一行」があるが、會場は未定である

大船「歌へ歡呼の春」燒失

正月興行をあてこんで各常設館では大作名畫上映と必死の宣傳戰に火華を散らしてゐる折柄、來る卅一日から全滿松竹系常設館で一齊封切の豫定であつた松竹大船映畫「歌へ歡呼の春」は廿一日東京京橋區松竹映畫會社より芝浦の滿映倉庫にバスで運搬の途中人夫の煙草の火がフイルムに引火バスもろとも全燒した、滿映東京支社では直ちにネガの燒增しを依賴中であるが正月興行には間に合はぬ模樣で、當地長春座第三週プロは大船田中、夏川の「鼻唄お孃さん」に變更された

さはてん

モンテカルロのダンサー達の起床時間は早い方が午前十時頃から遲いのになるとホールへ出るまで寢てゐると云ふ勇敢な子もゐる▼早く起きて風呂に最初入らないと氣持が悪いといふのがリナ嬢、上海に居た頃の洋式生活の名殘らしいです▼遲い組の筆頭が森陽子孃、午後三時を過ぎてもまだ高鼾です、嘘だと思つたら其の頃電話をかけてごらんなさい▼一度起きてまた寢るのがブーちゃん内田岐三子孃日曜日でも晝間が濟んだら早速ベッドにもぐり込んで夜間の九時頃再出勤に及ぶといふのが癖になつてゐます▼話は違ふがトリオのクリスマス券を買つて張切つて居たファン連の夢はこの間の火事で燒けてしまつて多々ペチャンですな

雜音

豐樂劇場寫眞替り東寶「風流艶歌隊」に松竹「奴かごみ山」を並べた二本、平凡な番組といふべし▼銀キネも年末謝恩週間として大都「三巴女白波」マキノ「喧嘩吉隆」の二本▼これに朝日座の「悦ちやん」「忍術猛獸國探險」が加はつて二番館も愈々最後のゴールへ突進だ▼豐劇は正月第一週「人妻椿」とアトラクションが入ることになつた、「銀座レヴュー」といふが飾りものにはならう

日曜　丁亥　佛滅　昴宿　舊十一月廿四日　十二月廿六日

●一白の人　名利共に擧る幸運日不熱心に傾かぬ樣注意　丙と丁と亥が吉
●二黑の人　失意の境涯より漸くに好轉せんとする吉日　辛と壬と寅が吉
●三碧の人　小成に安んずべからず焦りても效能なき日　甲と丙と丁が吉
●四綠の人　他より妨害せらるゝも之れに屈せず堪えよ　丙と丁と坤が吉
●五黃の人　計畫立たば直進せよ迷ふは不利又旅行は凶　西と北と艮が吉
●六白の人　職績不利と見ば退却して後圖を廻らすべし　南と辛と壬が吉
●七赤の人　一家平康を保つ年末に安んじ年始を迎へよ　南と西と亥は吉
●八白の人　萬事好調子に進展を遂ぐべし金廻り亦良好　亥と艮と寅が吉
●九紫の人　進出せんとすれば鼻先を抑へらるゝが如し　甲と乙と辛が吉

ダンスの殿堂
MERRY・XMAS
絶讃せんばうのクリスマス
今宵・ラスト・ナイト
クリスマス舞踏夜會
乞御來踏
大好評・吾等の歌姫
槇信子孃
ー連夜ハリキリー
扇芳會館

紳士の合言葉
XMASはモンテへ
皇軍捷戰
陣中クリスマス祭
カフエー モンテカルロ
豐樂路TEL2・5063番

クリスマス假裝大舞踏會
24日
25日
26日
二十七日・二十八日
當館が誇る定例和樂の夕
三味線演奏
新京会館
DANCE HALL

牛乳は
柳川牧場

12月24 25 26日
クリスマス假裝舞踏大會
24
ダンサー假裝
市村先生ショーダンス
25日
粗品呈上
大正天皇祭
特別ダンサー假裝
粗品呈上
市村先生のショーダンス
26
ダンサー假裝
市村先生ショーダンス
モンテカルロ

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一ケ月壹圓 一部五錢 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

蕪湖、杭州線以東地區 完全に我把握下

杭州陷落は我に頗る有意義

【東京國通】大本營陸軍部廿五日午前十一時卅分發表＝軍の一部は十二月廿四日午前八時頃浙江省杭州を占領せり、古來わが國と深き交渉を有せし杭州は十數年來抗日運動の中心地たるのみならず支那空軍の教育建設地たりしほか鐵道、自動車路航空路、水路の一大中心地たるをもつてこれが占領は軍事上重要なる意義を有するものといふべく、最早蕪湖、杭州を貫く線以東は確實に軍の把握下に歸するに至れり

虹口、楊樹浦一帶

邦人歸還者數萬に上る

【東京國通】廿五日海軍省に達した情報によれば最近の上海方面の一般狀況は左の如くである

一、虹口、楊樹浦方面の邦人歸還者は益々増加して既に數萬を超え、虹口一帶邦人商店は殆んど全部開店し賑ひを呈しつゝあるが、外人の復歸したもの少し、公共事業の復舊も着々進捗中である

二、蘇州河以南共同租界ならびに佛租界方面支那避難民約十五萬(共同租界十萬、佛租界五萬)が陋巷に溢れ兩租界工部局と各國軍と協力して治安維持に努めつゝあるので一般は表面平常狀態に回復した、外人工場の回復は遲々たる狀況である が、操業開始準備として機械掃除をなすものが増加し就業工人三萬(廿二日現在)となつた

三、浦東方面も大道市政府成立以來一般に平靜となつた

南京自治委員會

一月一日發會式擧行

【南京廿五日發國通】南京城内殘留支那人の自治精神から發した南京自治委員會の具體化は着々進展、愈に來るべき新春一月一日を期し盛大にその發會式を行ふことゝなつた委員會の第一着手としては内外の不穩分子を取締り良民に對しては年齡、舊住所、職業を調査した上、歸家復業の道を講じ城内外を問はずその業に安んぜしめる目的をもつて居住證を發することゝなつた

青島引揚避難民增加

米人婦女子も上海に避難

【上海廿五日發國通】山東の情勢緊迫に伴ひ謠言頻りに行はれ人心ますく不安に怯え市内より引揚げる避難民の群は再び增加して來た、在留外人も一部を上海方面に引揚げることゝなりアメリカ居留民中婦人、子供七十名はバタフィールド會社の盛京號で廿四日青島發上海に向け避難した

蒙疆銀行の資産、負債

【張家口廿四日發國通】去る十一月廿二日蒙古聯盟自治政府、察南自治政府および晉北自治政府各四百萬圓の出資により設立された公稱資本金千二百萬圓、第一回拂込三百萬圓の蒙疆銀行は十二月一日業務を開始、察南銀行、綏遠平市官錢局および豐業銀行の資産負債を繼承してゐるが、開業當日の營業開始前における蒙疆銀行本支店總括貸借對照表は左の通りである

蒙疆銀行資産負債表(千圓)

△資産
- 未拂込資本金　九、〇〇〇
- 貸出金　六、二五五
- 假拂金　九、六六六
- 銀行預託金　六、一八四
- 有價證券　二、三五一
- 銀地金　一、一九二
- 商品其他　六九六
- 損失　六
- 休業中の支店への貸出　一、五〇六
- 舊紙幣引換損　九七九
- 金票國幣等手許現金　八三一
- 計　二九、九六八

△負債
- 資本金　一二、〇〇〇
- 紙幣發行高　九、二一三
- 預金　五、四三四
- 假受金　一、四二九
- 借入金　一、〇〇〇
- 本支店未達　八九二
- 計　二九、九六八

假拂金中には馬占山その他軍閥に對する強制貸出金約五十萬圓を含んでゐる

一、銀行預託金内譯
- 滿洲中銀　[illegible]
- 鮮銀北京支店　[illegible]
- 正金北京支店　[illegible]
- 正金天津支店　[illegible]

一、有價證券内譯
- 交通銀行其他　[illegible]
- 滿洲國債　一、九〇〇、〇〇〇、〇〇
- 綏遠電燈株式其他　[illegible]
- 計　[illegible]

一、手許現金内譯
- 日本通貨　[illegible]
- 滿洲通貨　[illegible]
- 天津票　[illegible]
- 山西票　[illegible]
- 整理未濟舊紙幣　[illegible]
- 他方小切手　[illegible]
- 計　[illegible]

一、紙幣發行高内譯
- 察南銀行券　[illegible]
- 綏遠平市官錢局券　[illegible]
- 豐業銀行券　[illegible]

大兵團抗戰から小規模邀擊戰に

＝蔣ドイツ記者に語る＝

【上海廿五日發國通】漢口來電によれば、蔣介石は廿三日某所においてドイツ記者を引見し南京脱出後最初の會見談をなした、同會見において蔣介石は今後の對日抗戰策は大兵團の抗戰を小規模の邀擊作戰に轉換をなす旨を述べ左の如く語つた

支那五千年の歷史において今回程の大打擊を蒙つたことはない、これは一面國民の意志が統一されてゐないことを實證するものであるが支那軍は莫大な損害を受けたとは言へ支那軍の抵抗力は憂慮悲觀するに當らぬ、支那軍の大規模の抵抗作戰はすでに小規模の邀擊戰術に轉換された、この方が日本軍の進擊を妨げ打擊を與ふるに有利である

と述べ、「海岸を封鎖された今日支那は武器彈藥をいづれより補給するや」との質問に軍需品の補給路は雲南および甘肅を經由する兩路ありと答へ、ソ聯および印度支那よりの補給路を明示し最後にドイツに對する支那の態度如何との質問に對し

ドイツは永遠に支那の友邦たることを保つことを深く希望する次第である

と答へた

要塞攻略戰に驚異的記錄

無敵皇軍の南京占領

蔣介石が精密な抗日作戰計畫に基き、三年の歲月と五千萬元の巨費を投じて構築した南京要塞も無敵皇軍の正義の猛擊に敢へなく潰え本月十三日首都南京城は完全にわが手中に歸したが、この神速無比なる南京要塞戰を歐洲大戰におけるリエージュ、アントワープ、プルセミスル、ベルダンの四要塞攻略戰に比較して見ると

ドイツ軍は一九一四年八月六倍の兵力をもつてベルギー軍のリエージュ要塞攻城を開始し陷落までに十五日を要した

□

しかも守備側のベルギー軍主力は完全包圍前に退却した後だつた、これと前後してドイツ軍がアントワープ要塞のベルギー軍を攻略したが、五十日を要し辛うじて占領した、一九一五年三月ロシアがオーストリー、ハンガリー軍のプルセミルス要塞を陷落せしめるには三倍の兵力と二十四日の日數を要した、この場合も守備側は糧食彈藥の缺乏によつて敗れたのであつた

□

かの有名なベルダン要塞は攻擊五ケ月に及ぶも遂に攻略出來なかつたことを思へば、僅か四日で南京城を完全占領赫々たる戰果を收めた皇軍の無敵振りは世界戰史にも見ざる所である

日本軍の機宜の善後處理を指摘

上海米海軍のパ號報告書

【ワシントン廿四日發國通】米國海軍省は廿四日午後八時パネー號事件に關する上海米國海軍査問委員會の報告書を公表したが、右報告書は先づ日本軍飛行機によるパネー號爆擊の經過を果述、該艦が遂に航行不能に陷つた結果、下航を餘儀なくされた事項を述べた後、續いて日本軍飛行機が護送のスタンダード石油會社船舶を攻擊した際、日本の陸軍部隊が碼頭の附近で盛んに日の丸の國旗を打振りつゝ攻擊を中止せよと合圖してゐることを强調してゐる、しかしこれ等日本兵の努力は遂に奏效せず却つて飛行機のため死傷者を出すに至つたと述べ更にパネー號乘組火夫一名は避難中一行とはぐれて河岸を彷徨中蕪湖で日本軍飛行機に救助され上海に送り屆けられたと述べてゐる等日本軍の機宜た善後處理を指摘してゐるのが注目される

松井最高指揮官ヤーネル提督と歡談

【上海廿五日發國通】松井最高指揮官は原田少將及び岡本總領事を帶同、廿四日午前十一時アメリカ旗艦オーガスタス號にヤーネル提督を訪問、膝を交へて會談の後和氣靄々裡に日米出先軍首腦者は固き握手を交し正午頃會見を終つた、なほヤーネル提督は廿日〇〇に松井最高指揮官を答訪する

新政府、北支五大河の治水計畫に乘出す

日滿權威者を招聘實地調査

【北京廿四日發國通】中華民國臨時政府は產業開發、農村救濟のため北支五大河の治水計畫樹立の急務を認め過般日滿兩國政府に對し治水計畫の權威者派遣方を要請、兩國政府は右要請を容れ日本側より元内務技監、谷口東京土木出張所長、宮本内務技師、滿洲國內務省の辰馬內務技監、中川國側より直木水力電氣建設局長などを派遣し、一行は既に去る廿日北京に到着した、一行は數日滯在の後白河、永定河、南運河、大淸河、子牙河の各河川別に實情調査を行ふ豫定であるが、河北省の農村一帶は今秋廿數年來の大洪水に襲はれ田畑の多くは荒廢ししかも排水不良のため所々に湖沼狀態を呈したまゝ凍結したゝめ、明春の解氷期および播種期における排水、治水および播種の能否は極めて重視されてゐるので、一行の調査の結果は注目されてゐる

濟南、青島間の電信電話杜絕

【上海廿五日發國通】山東の情勢刻々と惡化し濟南、青島間の電信電話は廿五日早朝より一切杜絕した

南京の各國大使館員歸還

【上海廿五日發國通】南京の列國大使館は危機切迫とゝもに一時閉鎖し難を上海に避けてゐたが、皇軍の入城により情勢一段落を見たので、南京に歸還することゝなり、米國大使館員先發隊は來る廿八日南京に向け上海を出發する、なほ英、獨兩國もこれと殆ど同時に歸還の豫定である

駐支新ソ聯大使蘭州發漢口へ

【上海廿五日發國通】蘭州來電によれば新任ソヴィエト大使オレルスキー氏は赴任の途次モスクワより迪化に到着したが、雪のため同地出發が遲れ廿三日になつて漸く迪化を離れ廿四日午後三時蘭州に到着した朱紹良以下黨政軍各代表に迎へられオ大使は省政府を訪問、同夜朱紹良の招宴に臨み廿五日同地發漢口に飛ぶ

宣城鎭を爆擊

敵千五百を潰滅す

【石家莊廿五日發國通】わが近藤飛行隊は廿四日午前〇〇機編隊をもつて太原東南七十キロの宣城鎭を爆擊同地に集結中の敵約一千五百に對して徹底的打擊を與へた

北極探險の勇者シユミット博士逮捕

【東京國通】ソ聯の肅黨工作の犧牲として刀圭界の世界的權威プレトネフ・レビス氏ほか五名の有力者が反革命陰謀およびスパイの廉で檢擧された旨二十四日確實な筋へ入電があつた、その中にまだわれくの記憶にも新しい北極探險の勇者オットー・シユミット博士の名が發見され、博士を知る人々を驚愕させてゐるが、このほかアフガニスタン駐劄公使スキグイルスキー・ラデック事件の裁判官ウルリッヒ氏の名もまじつてゐる

パルプ生產決定

【東京國通】企畫院では廿四日パルプ協議會を開催協議の結果、當面のパルプ生產につき決定を見たので同日午後企畫院東產業部長より左の如く發表した

本日のパルプ協議會に於て左の如く決定した昭和十七年に於て製紙用並に人纖用パルプ合計百三十五萬噸の生產を目標とし內地、北海道、樺太に於て增伐を行ひこれを既存設備の全能力の運轉及びパルプ消費者を主體として設立せらるべき新會社に供給せしむること、尙細目については更に協議を進めること

賀狀未曾有の激減

受付は例年の約一割六分

【東京國通】慌しい歲末に一仕事となる年賀郵便も今年は事變の影響で中止するものが意外に多く、中央郵便局で廿日の特別扱ひから廿四日までに受付けた數が二十七萬七千六百六十四通で昨年同期間の約百七十三萬通に比べて約八割四分の減少といふ未曾有の激減振りである、そのほかの各局も大體同程度の減少でこれは一般の人が年賀狀を出すのを遠慮したのとゝもに例年一個所で何萬通を出す保險會社、ホテル、料亭、銀行や代議士、市會議員などの大口が時節柄で中止したものが多いためである

經濟部異動

來春早々發令

田中金融司長の滿洲重工業會社轉出ならびに難波專賣副局長の休職に伴ふ經濟部内の人事異動は來春早々行はれる模樣であるが、大體つぎの如くみられてゐる

- 金融司長へ　靑木稅務司長
- 稅務司長へ　永井文書科長
- 文書科長へ　橫山金融科長
- 金融科長へ　伊藤銀行科長
- 銀行科長へ　平田參事官又は高津事務官
- 專賣副局長へ　古木專賣總局總務科長
- 駐日財務官へ　山梨駐日財務官

澤田參事官昨夜歸京

治外法權撤廢事務の經過報告ならびに一般大使館事務につき本省と打合せのため上京中の澤田大使館參事官は廿五日午後八時四十五分着ひかりで歸京

呂產業部大臣

呂產業部大臣は廿五日午後六時二十分着あじあで歸京した

田中金融司長

北支へ出張中の田中金融司長は廿五日新京着飛行機で歸任したが、來る廿七日東京において開催される滿洲重工業開發會社の創立總會に出席のため廿六日午前七時四十五分新京發日滿連絡機で東上した

石坂農政科長

產業部農務司石坂農政科長及び鑛工司工業科松井事務官は明年一月一日より施行される重要特產物國營檢査に關し內地側業者團體に同法制定の趣旨及び運用方針說明のため廿五日午後四時四十分新京發列車で東上したが、兩氏は東京名古屋、大阪その他の懇談會に出席、明年一月末歸京の筈

人事往來

- ▲稻次義一氏(濱江稅務監督署)廿五日來京ヤマトホテル
- ▲野木軍司氏(商業)同
- ▲淸水孫秉氏(冀東銀行顧問)同
- ▲東鄕賀一氏(大阪朝日)同
- ▲牛田康次氏(會社員)同
- ▲松野八郎氏(同)同向陽ホテル
- ▲香月雄二郎氏(同)同
- ▲鈴木龍藏氏(鑛業)同
- ▲紀内一夫氏(官吏)同
- ▲別所甫氏(同)中央ホテル
- ▲吉崎圭吾氏(滿鐵社員)同

偶語

一億觀業の大向を唸らせた滿鐵閥と企畫院閥の大角力さすが問題だけに水を入れること數回戰は遂に兩軍扇といふ事に思かついた▼滿鐵としては北支開發の一元的經營の主張が通らなかつたのであるから敗退にあらずとも無念であらうが▼政府としても北支にだける現情に鑑み尠くとも北支鐵道に關する限り滿鐵の人的技術的組織經驗から見て可及的に要望を容れる方針であり▼また原案の內容といふものが一切嚴秘に附されてゐるのであるから如何なるものが藏されてゐるかも知れず總裁も云つてゐる通り要は今後の實行方針如何であるから强ち悲觀するにはあたるまい▼三十年の光輝ある、歷史を踏みにじるやうな無粹な近衞さんでもあるまい、まあ落ちついてゆつくり屠蘇でも酌まうではないか▼德王を迎へての國民大會は協和會首都本部の主催で二十五日協和會館で開かれた▼零下三十度の酷寒をついて集る人々で會場は埋めつくされた▼馬車夫、苦力、洋車夫の多い割に日本人の頭數の尠かつたことが淋しい

交付金百萬圓計上 産金奬勵法制定

日滿國際收支融合を圖る

日滿を一體とせる國際收支適合の見地から金の增產は最も急務とされ、滿洲國政府では各種の方法による產金振興策を考究中であるが、その第一着手として產金事業助成金交付を行ふことゝなり來年度豫算において百萬圓をこれに計上すると共に、產金奬勵法を公布することゝなり、目下その案文を練つてゐる、右奬勵法は助成金交付に關する規定を定めたもので、公布は來年初頭となる見込みであるが、交付金豫算百萬圓は暫定的の額であり、奬勵法を適用して見て更に多額を要する場合は豫備金乃至は追加豫算よりこれを支出する筈である

郵政生命保險 契約成績良好

全國民加入も可能視

去る十月創始された郵政生命保險は其後極めて順調な發展を遂げ廿三日既に件數二萬九千餘件、保險金額では三百四十萬圓突破といふ好成績で創業當時當局が豫想してゐた年度內契約件數一萬五千件に比較すれば驚くべき躍進振りである、この內新京管理局が最高位を示し十月末現在で三千五百八十件、七十一萬二千圓餘で、奉天、哈爾濱、錦州の順序であるが民族籍別をみれば滿人の加入割合は五割七分で第一位にあり、日本人は三割七分、その他六分で滿人に對する優秀な普及振りをみせ終身、養老別では日本人、滿人共に八割三分が養老保險で終身はともに一割七分であるかくの如く極めて優秀な成績をみせてゐるので當局では今後相當の年月を經過すれば三千萬國民の總てを加入者たらしめ得るとみてゐる

日本産業聯盟(假稱) 組織されん

【東京國通】戰時體制の本格的前進につれて內外における經濟情勢は最近ますます複雜錯綜を極めんとし、わが財界においてもこの時勢に對應し以て政府の經濟政策樹立ならびに運用に協力すべく這般經濟團體聯盟を組織したが、同聯盟の組織そのものは既存の一部經濟團體を何等整備統合することなくそのまゝ集合せしめたものに過ぎず、わが國現下の非常時局に際し民間側の經濟中樞機關としては適切なる機構を具備せざるものなる實情に鑑み、この際名實ともに民間經濟の自治的中樞機關たり得る新組織の確立が要望され商工省においても目下新機構に關する立案を急いでゐるが、右商工省の企圖する產業統制機構の基礎案として傳へられる日本產業聯盟(假稱)の全貌が廿四日發表され關係各方面から多大の注目を惹くに至つた、右日本產業聯盟の組織案要綱は次の如くである

イ、國家的見地に立ちて產業界の凡ゆる知識と經驗とを綜合統一し以てわが國產業界の輿論を代表するとゝもに政府の國策樹立ならびにその運用に協力する

ロ、主要產業を統制して相互の連絡協調を圓滑ならしめ併せてわが國產業界の健全なる改善發達を計ること

ハ、外國に對してはわが國民經濟界の代表的機關たらしむること

滿鐵傍系株評價委員 人選方針

【大連國通】滿鐵では廿三日午後一時から重役會議を開き滿洲重工業會社に讓渡する傍系株の評價委員會に對する滿鐵の方針を協議の結果委員は日本政府、滿洲國、滿鐵及び內地一流實業家中より人選することに決定した

保健社會省は厚生省と改稱

【東京國通】保健社會省に關しては二十三日荻窪の近衛首相別邸における關係閣僚會議の決定に基き二十四日の定例閣議席上に近衛首相裁定案を商相缺席のため風見書記官長代理となり左の如く披露し各閣僚の諒解を求め異議なく決定するに至つた、よつてこれで同官制は明春早々實施の運びとなつた、首相裁定案の保健社會省については目下樞密院において審査中のところ保健委員の所管事項ならびに省名等に關し一段の工夫を要するとゝもに一方この省の設置は時局に鑑み急を要するをもつてこの際曩の閣議決定に一部變更を加へ生命保險會社の監督は從來通り商工省に戻し省名を厚生省と改め、これに關聯する適當の整理を加へることゝして右につき閣議の承認を願ひたし

佛女鳥人イルズ孃サイゴン着

【サイゴン廿三日發國通】フランスの名女流飛行家イルズ孃は十九日午前十時十三分パリ・ブルジエ飛行場を出發パリ、サイゴン間スピード記錄飛行の途にのぼつたが、グリニツチ標準時廿三日午前六時四十五分無事サイゴンにゴールインした、所要時間九十二時間卅二分昨年十二月アンドレ・ジャピー氏が作つた九十八時間五十二分を破ること六時間二十分の新記錄である

太原に居留民會近く結成

【太原廿四日發國通】日一日と治安恢復を續ける太原城に入込んだ日本人商人は百餘名に上つてゐるが、廿三日午後在留邦人有志五十名が當地特務機關に參集し、居留民會結成を協議したが、明朗太原建設の協力者として近く居留民會が結成されることになつた

中華民國新民會の構成要項章程

【北京廿三日發國通】中華民國政府の施政に照應し民衆の教化指導に任ずる團體として結成計畫中の中華民國新民會は廿四日午前十一時北京懷仁堂に於て行政委員會委員長王克敏氏臨席日滿有志多數臨席の下に盛大なる發會式を舉行したが、新民會の構成要項ならびに章程は左の通りである

△構成要綱

中央機關として中央指導部を北京に置き中央指導部長が會務を總理する、その下に委員會を置き主要事項を審議する、地方機關としては省、縣、都市指導部を置き鄉村に組織單位たる分會を設ける、又指導部長の諮問に應じ重要事項を審議し正當に民意を調査する機關として全國省、縣(市)聯合協議會を設ける、この外監察部の組織を置き會務會員の狀態の審査に當らしめる

△中華民國新民會章程

第一章 名稱

第一條 本會を中華民國新民會と稱す

第二章 目的

第二條 本會は新民主義を奉じ政府と表裏一體の民衆團體として日滿支の共榮を顯現し掃共滅黨の徹底を期し世界平和に貢獻するを以て目的とす

第三章 會員

第三條 本會は中華民國人及び本會の目的を達成せんとするものをもつて構成す

第四章 會長、副會長

第四條 本會に會長及び副會長を置く

第五條 會長は政府首班者を推戴す

第五章 中央機關

第七條 北京に中央指導部を置き左の役員を設く

中央指導部長 一名
中央指導部次長 一名
中央指導部委員 若干名

第八條 中央指導部長は會長之を命し任期を三年とす

(中略)

(第九條より第十一條まで省略)

第十二條 中央指導部委員會は中央指導部委員をもつて組織し中央指導部長の諮詢に應じ重要事項を審議す

第十三條 左の各件は中央指導部委員會の議を經ることを要す

一、綱領及び章程の變更に關する事項
二、重要規則の制定改廢に關する事項
三、豫算決算に關する事項
四、全國聯合協議會に關する重要事項

第六章 地方機關

第十四條 省に省指導部を、北京に首都指導部を置く

第十五條 省指導部及び首都指導部は中央指導部に直屬す

第十六條 省略

第十七條 縣に縣指導部を省政府所在及びその他特定の都市に指導部を置く

第七章 分會

第十八條 省略

第十九條 本會の組織單位を分會とし鄉村を單位とする

第二十條 分會は首都指導部、縣指導部、都市指導部に隸屬す

第八章 聯合協議會

第廿一條 省略

第廿二條 本會に聯合協議會を置き毎年一回又は臨時に開催す

第廿三條 聯合協議會は之を分ちて全國聯合協議會、省聯合協議會、縣(市)聯合協議會とす

第廿四條 聯合協議會は指導部長の諮問に應じ、重要事項を審議し且つ正當に民意を暢達す

第九章 監察部

第廿五條 省略

第廿六條 本會に監察部を置く、監察部は會長の任命する監察員をもつて組織す

第廿七條 監察員は本會の業務ならびに會員の狀態を審査し狀況により一定の干與をなすことを得

第廿八條 監察の評定は總て會議において之を決す、議決は過半數による

第十章 會計

第廿九條 省略

第三十條 本會の經費は會費、國庫補助金、事業收益金などをもつて充つ

附 則

本章程は中華民國二十六年十二月廿四日よりこれを施行す

國防皇軍慰恤献金品(本社取扱)

一金一萬三千五百四圓九十七錢五厘(關東軍司令部)
一慰問袋千三百三十二個(同)
一金三千二百七十八圓二十七錢(駐滿海軍部へ)
累計 一万六千七百八十三圓二十四錢五厘
……十二月二十五日夕刻迄の分……

英艦隊極東派遣見合事情

【ロンドン廿二日發國通】廿一日の英國閣議が英國艦隊の一部極東派遣を當分見合せることに決定した事情につき廿二日ハヴアス通信社ロンドン支局は權威ある筋の消息として左の如く報道してゐる

一、英國艦隊の一部を極東に增派する場合その勢力は新な事件の發生を防止し得るに足るだけの大艦隊でなければ無意味である

一、歐洲の情勢緊迫の折柄歐洲における警備を手薄にしてまで極東に艦隊を派遣するほど同方面の情勢は重大化してゐない

一、英國政府の抗議に對する日本政府の回答到着が近く期待されること、しかして日本の回答が從來の如く單に漠然たる將來の保障に止まるときは英國政府は重ねて日本政府に對し英國政府は單なる保障だけでは滿足し得ない旨の申入れを行ふ意向である

新民會發會式に伊代表出席

【北京廿四日發國通】支那事變をめぐつて在華イタリー人の日本に對する好意と皇軍の恩情とは、イタリー宣教師等に對する國際佳話を生んでゐるが中國新政權の誕生とゝもに標榜せる掃共滅黨の理想が伊のそれと一致するところから親日はさらに親中國となつて廿四日の新民會發會式にもイタリー大使館マルコ書記官、レリクレゴオ武官[illegible]時に出席して注目を集めたが、新國家の前途に有形無形の支援を約束し日滿支人の大歡迎をうけた

舊魏縣警備隊 敗殘兵一掃

【石家莊廿四日發國通】舊魏縣にあつたわが○○部隊の警備隊は、廿三日同地の南方四里の部落に集結する敗殘兵討伐に向つたが、村の北方約一里の地點にさしかゝる、數名の農民が出迎へ、約二千の敗殘兵が數日來部落に侵入し掠奪暴行の限りを盡してゐるから救助してくれとのことで、わが軍は直ちに進擊し敵は二百餘の死體を殘して潰走したわが軍は農民達の案內で村に入つて見ると掠奪暴行いたらざるなく、村はずれの家には卅餘名の若い女達が監禁され今や拉致されんとする危機一髮のところ救はれて縛めを解いてやると嬉し泣きに泣いて感謝した

石家莊北方に蠢動の敗殘兵歸順

【石家莊廿四日發國通】石家莊北方平山縣、無極などの附近には冀察遊擊隊のなれのはてと自衛團の落伍者とが合流して掠奪を働いてゐたが、數日來討伐に向つたわが鯉登部隊のため掃蕩され、十九日から廿三日にかけて平山縣で約三百、無極で二百五十、長壽村で約三百が歸順した

帝人事件判決に檢事上訴權放棄

【東京國通】帝人事件全被告無罪判決に對する注目すべき檢事控訴か否か最後的決定となす最高首腦部會議は前日に引續き廿三日午前十時半から法相官邸において鹽野法相、泉二檢事總長、吉益東京檢事長の三巨頭の間で三度目の最高首腦部會議が開かれた結果上訴權放棄に決定した

省地方費法中改正の件 廿八日公布

勤勞所得稅法、家屋稅法、省地方費稅法の制定に伴ひ又省地方費に起債權を容認された結果省地方費法中改正の必要に迫られたので政府では廿一日の國務院會議で右改正案を可決、廿五日の臨時參議府會議の諮詢を經たので御裁可を得て廿八日公布する豫定であるが、改正點は第二條省地方費の收入の項を

イ、勤勞所得稅附加稅
ロ、法人營業稅附加稅
ハ、出產糧石稅附加稅
ニ、鑛區稅附加稅
ホ、鑛產稅附加稅
ヘ、禁煙特稅附加稅
ト、家屋稅
チ、省地方費稅及びその督促手數料、延滯金滯納處分費、過料
リ、第一號乃至第七條に關する延滯金及び過料
ヌ、國庫補給金
ル、省地方費支辨の事務又は事業に伴ふ收入
ヲ、省地方費債

とし、第八條を

一、省長は必要ありと認むるとき國務總理大臣及び經濟部大臣の許可を受け省地方費債を起すことを得
省長は省地方費の豫算內の支出をなすため一日の借入金をなすことを得

とし、第九條に

一、省地方費取扱に關する經費

の一項を追補したものである なほこれが實施は康德五年一月一日である

滿鐵附屬地卅年史

櫻木小學校（上）沿革史

創設から現在に至るまで

教授

一、圖書室、庶物標本室、若は學校園、溫室等の創設變遷

イ、兒童圖書室

本校創設當時より一階校舍南隅大教室をこれに充當す、書籍は主として高學年本位とし、讀書趣味の養成のため單行本として讀ませ、及び餘力ある學習と、特殊の課外研究の資に供するため比較的高價なる參考書等を購入す　本校は創立尚日淺く豫算の關係もあり、最初より理想的の施設は望む能はざるも、漸次良書の購入參考物件の蒐集購入等と相俟つて教室の美化裝飾を企劃しつゝ完成を期する豫定なり

ロ、標本室

教室數の關係もあり特設し能はざる狀況にあるも地歷教室と兼ねて、漸次標本を蒐集排列しつゝあり

ハ、學校園

勤勞作業の精神を高潮し兼ねて田園趣味の涵養に資するため、校舍南側の空地に各級毎に約數坪の作業園を與へ各種の農作物を栽培せしむ　其他園藝趣味、教材植物栽培研究の爲め、運動場南側垣根に沿ふて、各級毎に學習園を設け教材植物及び草花を栽培せしむ

ニ、溫室の施設はなし

2、各學校に於ける英語支那語教授の變遷等の如き事項

四年生以上滿洲語として每週一時間乃至二時間これを課しつつあり。英語其他の外國語は課せず

3、補充讀物、若は課外教授の變遷

イ、補充讀物

各學年共國定教科書の外滿洲補充讀本を與ふ、其他各學級毎に文庫を特設し文庫費として兒童より各月十錢を徵集し適當なる補充讀物を購入しつゝあり、創立當初は書籍不充分なりしも漸次充實し現書籍も相當數に達し大いに讀書趣味の養成に資しつゝあり

ロ、課外教授

定期的の課外教授はなさざるも強いて列記すれば左記の如きものなり

A、自習時間の特設

多期始業前に特設し教師はこれが補導をなしつゝあり

B、兒童研究發表會

各學期一回宛の兒童研究發表會のため平素これが研究及練習を補導しつゝあり

C、映畫教育

映畫聯盟に加入し各月每に教材映畫及び情操映畫を觀照せしめつゝあり

九、懸賞課題の指導

長期の休暇を利用し、主として低學年は生活表現の繪日記、中高學年は地歷、理等に亙る各種の研究を補導せり

4、教授上の工夫研究事項

イ、新算術書の研究會

國定算術書の改正によりこれが研究會を開催しこれが教材及びその指導法の研究をなす

ロ、低學年經營の研究

新京區の研究題目でもあり、相互にその方案につき研鑽せ

ハ、實術指導研究會

全學級年度內に一回宛、研究指導を實施し學習法指導法の研究をなす

ニ、知能テスト學習テスト

兒童の能力に則した個別教育を實施せんために第二學期に於て大伴式のテストをなす

ホ、共通考査

指導者の反省と教授の徹底を期するため各月一回學年共通問題により考査を實施す

5、其の他

イ、週報の發行

家庭教育と學校教育を緊密ならしむるため週報を發行し、每週進度及注意事項等を各家庭に通知す

ロ、父兄會と展覽會

學年初めに父兄會を開催し學校教育への理解後援を促進し亦父兄參觀日を特設し兒童の成績品を展覽に供したり

ハ、音樂會

本校創立記念日に擧行す

ニ、兒童文集の發刊

兒童文集「さくらぎ」の創刊號を發刊したり

入學兒童激增　又もや收容難

取敢へず校舍增築　申込は早いが得

國都の發展に伴ふ人口の增加は著しく新京日本學校組合の調査によれば、昭和十三年四月一日入學する兒童は概數一千四百名に上り之を現在の七校に割當てると一校二百名となり中には幾分餘裕のある校舍もあるが殆んど超滿員の有樣で早くも頭を惱ましてゐる組合當局としては滿鐵地方課が計畫してゐた寬城子の第八小學校新築は今のところ確定せず止むを得ない場合には增築して一時急場を脫がれやうと第二段の方策を講じてゐる從つて十三年度入學兒童の申込は一月六日からになつてゐるので期間中出來る限り早く提出した方が有利である、一方幼稚園の入園兒數も頓に增加し明年度は約百二、三十名を入れる豫定であるがこの方も早いが勝期間中に申込んで置く方がよい

滿洲帝國武道會　規程

滿洲に於ける武道の殿堂滿洲帝國武道會は康德五年一月一日を期し華々しく運動を開始することになつたが、新制された規程及び規程細則は左の如くである

△滿洲帝國武道會規程

第一章　總則

第一條　本會は皇帝陛下御登極の大典を紀念して結成す

第二條　本會は全滿洲に於ける武道修業者を以て組織す

第三條　本會は滿洲帝國武道會と稱す

第四條　本會は事務所を民生部內に置き之を本部と稱す

第二章　目的

第五條　本會は全滿洲武道修業者を統制し武道精神の宣揚と武術の普及發達を圖り以て國民品性の陶冶と體育の奬勵に資し併せて民族融和の實を擧げ國家をして磐石の安きに置くを以て目的とす

第三章　事業

第六條　本會は第二章の目的を達する爲左の事業を行ふ

一、政府其の他公私機關に對する武道の普及發達に關する意見の提出

二、大典慶祝全滿武道大會の開催

三、訪日宣詔紀念武道大會の開催

四、昇段及資格の審査登錄

五、各武道審判規程の統制

六、各地支部の設立

七、機關紙の發行

八、其の他武道の普及發達に關し必要なる事項

第四章　役員

第七條　本會に左の役員を置く

名譽會長	一名
會長	一名
副會長	一名
顧問	若干名
理事長	一名
常務理事	六名
理事	若干名
監事	二名
評議員	若干名
幹事	若干名

第八條　名譽會長は國務總理大臣を推戴す

第九條　會長は民生部大臣を推戴す

第十條　副會長は民生部次長を推戴す

會長は本會を代表す

第十一條　副會長は會長を補佐し會長事故あるときは其の職務を代理す

第十一條　顧問は理事會の決議に依り之を推戴し會長之を委囑す

顧問は會長の諮問したる事項に付指示を與ふ

第十二條　理事長は理事會に於て推薦し會長之を委囑す

理事長は常務を統理し、理事を召集し理事會の議長となる

第十三條　常務理事は理事會に於て互選し會長之を委囑す

常務理事は會の常務を專行す

第十四條　理事は會長之を委囑す

理事は理事長の召集に應じ會の事業其の他重要事項を議決す

第十五條　監事は理事會に於て互選し會長之を委囑す

監事は會の會計を監査す

第十六條　評議員は會長之を委囑す

評議員は會長の諮問したる事項に付意見を述ぶ

第十七條　幹事は各部門會員を以て充て會長之を委囑す

幹事は理事會の命を承け會務を分掌す

第十八條　理事、評議員、幹事の任期は一年とす但し重任を妨げず

第十九條　本會の役員は名譽職とす

第二十條　本會は必要に應じ會務職員を置くことを得

第五章　會

理事會、小理事會

第二十一條　理事會は必要に依り隨時理事長之を召集す

理事會は理事長、常務理事理事を以て之を構成す

第二十二條　理事會に附議すべき事項左の如し

一、諸規程の制定

二、事業計劃並業務報告

三、豫算及決算

四、其の他重要なる事項

第二十三條　理事會は全員の二分の一以上出席するに非ざれば之を開くことを得ず

第二十四條　理事會の議事は出席者の過半數を以て之を決定す可否同數なるときは議長の裁決に依る

第二十五條　小理事會は必要に依り隨時理事長之を召集す

小理事會は理事長、常務理事を以て構成し會の常務を專行す

第六章　經理

第二十六條　本會の會計年度は政府會計年度に準ず

第二十七條　本會の經費は政府補助金寄附金其の他の收入を以て支辨す

第二十八條　本會の會計年度の終りに於て剩餘金あるときは之を翌年度に繰越す

第七章　附則

第二十九條　本會に柔道劍道及弓道の三部を置く

部門の規則は別に之を定む

第三十條　本會は地方的事業の爲め主要都市に支部を置く

會員の統制及本部との連絡の爲め主要都市に支部を置く

第三十一條　本會の規程は理事會の議決を經て會長の允裁を得たる後主務官廳の認可を受くるに非ざれば之を變更することを得ず

支部規則は別に之を定む

第三十二條　本規程は康德五年一月一日より之を施行す

△規程細則

第一章　本會各部

第一條　本會に柔道劍道及弓道の三部を置く

第二條　各部の名稱は滿洲帝國武道會〇〇部と稱す

（略稱武道會〇〇部とす）

第三條　各部に左の役員を置く

部長	一名
副部長	一名
委員	若干名

第四條　部長は會長之を依囑す

部長は部を代表す

第五條　委員長は委員會に於て推薦し會長之を依囑す

委員長は部長を補佐し常務を綜理し委員を招集して其の議長となる部長事故あるときは其の職務を代理す

第六條　委員は新京支部より選出せる各四名及其他各支部より選出せる各一名を以て之に充て部長之を委囑す

委員は委員會を組織し部の事業を執行す

第七條　委員會は每年一回開催す

但し必要に依り隨時之を行ふ

第八條　部長は必要に應じ隨時小委員會を開催し部の常務を專行す

第九條　委員會に附議すべき事項左の如し

一、部の事業計劃

二、其の他重要なる事項

第十條　各部には必要に應じ相談役を置くことを得

第二章　支部規則

第十一條　本會の支部は本會成立の本旨及目的に基き支部管內に於ける武道修業者を以て組織するものとす

第十二條　支部名稱は滿洲帝國武道會の七字を冠稱するものとす

（略稱武道會〇〇支部とす）

第十三條　事務所は市公署又は街公署內に置く

支部規程は本部規程に準じ支部に於て之を作成し本部に通告認可を受くるを要す規程の變更に付亦同じ

第十四條　支部は本會の目的を達する爲左の事項を行ふ

但し業事終了後は速に本部に報告するものとす

一、支部管內の武道修業者を統制す

二、本部に對する普及發達に關する意見の提出

三、訪日宣詔紀念武道大會の開催

四、其の他武道の普及發達に關し必要なる事項

第十五條　支部に左の役員を設く

一、支部長　一名

二、副支部長　一名又は二名

三、支部常務理事　六名

四、支部理事　若干名

五、支部監事　一名

六、支部幹事　若干名

前項の外に必要に應じ顧問及評議員若干名を置くことを得

第十六條　支部長は支部を代表し事務を綜理す

第十七條　副支部長は支部長を補佐し支部長事故あるときは其の職務を代行す

第十八條　常務理事は支部の常務を專行す理事は支部長の命を承け支部の事務を處理す

第十九條　監事は支部の會計を監査す

第二十條　顧問は支部長より諮問したる事に付指示を與へ評議員は支部長より諮問したる事に付意見を述ぶ

第二十一條　幹事は理事會の命を承け支部の事務を分掌す

第二十二條　支部長は十一月三十日迄に翌年度の本部評議員及部門委員一名を選定し本部に屆出づべし

第二十三條　支部は本部に準じ柔道劍道及弓道の三部を置く

第二十四條　各部に左の役員を置き各部門の行事を行ふ

部長　一名

委員長　一名

委員　若干名

第二十五條　支部の事業に要する費用は所屬官廳補助金本部より交付する金品、寄附金其の他の收入を以て支辨す

第二十六條　支部長は每年十一月三十日迄に翌年度の事業計畫及豫算案を本部に報告すべし

第二十七條　支部長は每年一月三十一日迄に前年度の決算書を本部に報告すべし

家畜傳染病豫防法

家畜傳染病豫防法は十三日の國務院で可決されたので參議府の諮詢を經た上廿三日公布されたが要旨左の如くである

一、馬（騾、驢を含む）牛、緬羊、山羊、豚、犬の鼻疽、炭疽、牛疫、牛肺、口蹄疫、羊痘、豚疫、豚コレラ、牛結核、狂犬病、疥に對する豫防に關し主管部大臣法に基く權限を規定したもので

二、傳染病發生したる家畜若は疑ある家畜を發見した場合は所有者管理人、診斷若は檢察した獸醫師は直ちにこれを家畜防疫委員又は警察官署に屆出ること

右の如き家畜が船車に搭載したるものゝ時は船長又は鐵道係員より屆出る

三、前項の家畜は家畜防疫委員又は警察署の許可なく屠殺することは出來ない

四、馬、乳用牛は鼻疽又は牛結核豫防のため行政官署これを檢疫することを得る乳用牛以外の牛の牛結核も亦同じ

五、賽馬場、家畜市場家畜共進會等家畜を集合せしむる施設に入る家畜は開設者これを檢疫す

六、主管部大臣は傳染病豫防上必要あるときは輸出入家畜及び畜產物等傳染病傳播の虞ある物品につき檢疫を行ひ、又は輸出入を停止することを得る

七、船舶又は鐵道の所有者若は管理人は輸送前鼻疽檢疫を受けた馬に非ざれば輸送することを得ない

八、行政官は豫防上の必要を認むるとき家畜を屠殺せしむることを得る

九、その他豫防上必要なる諸規定を設け防疫豫防機能ならびに違犯者に對する處罰等を規定したものである

當局談話

畜產局は家畜傳染病豫防法の制定に當り左の當局談を發表した

□

我邦における家畜の傳染病に依る被害は寔に甚大なるものがありこれがため當局は建國以來應急防遏對策を講じ病毒の除に努めて來たのでありますが、關係機關の熱心なる協力に依り今般家畜傳染病豫防法の制定を見、組織的に防遏對策を樹立し得るに至つたことは邦家のため同慶に堪へないところであります本法の要旨ならびに特色を述べますと槪略左の如きものであります

一、法定傳染病の種類を定めたこと

重點主義により傳染病豫防法を適用すべき傳染病の種類は、鼻疽、炭疽、牛疫、牛肺疫、口蹄疫、羊痘、豚疫、豚コレラ、牛結核、狂犬病ならびに馬および緬羊の疥の十一種に家畜の種類は馬、騾、驢、牛、緬羊山羊、豚および犬の八種に限定したこと

二、傳染病豫防に關し可及的明確に關係者の權利義務を定めたこと

畜主その他に對し傳染病發生時に處する明確なる指標を與へ、これに義務を課すると共に傳染病豫防事務に關する執行機關を定め、その各般に亘る權利義務を適確に定めたこと

三、鼻疽防遏に關しては一般民衆の自衛心を基調とする隔離を主體とし殺處分を併用したこと

四、將來地方團體又は畜產團體の自衛的發意に基く豫防事業を豫期したこと

五、傳染病豫防事業の遂行に伴ひ國民に及ぼす損失に對しては補償の途を講じたこと

六、適用地域に關しては將來に徵し鼻疽及牛結核に對しては時に現地適用の趣旨に

よつたこと

政府においては右の如き內容を有する本法の施行には充分目的と國情ならびに產業の現狀に鑑み漸を以て效果の獲得を期し居る次第であります

北支皇軍慰問金

特別市町內會

▲金二十圓柏內洋行▲金十圓知中洋行▲金十圓大……▲金十圓榮記商會▲金……野洋行▲金十圓久保洋行▲金三圓山崎洋行▲金三圓豐記洋行▲金三圓西尾福增洋行▲金三圓……▲金五圓今坂德次郎▲金……崎ちゑ子▲金二圓鈴木……▲金二圓加來瀧雄▲金二……洲圖書株式會社▲金二……日ビル管理者▲金二十……泰三▲金五圓有津傳……圓交通股份有限公司▲……

▲金二十圓新京宿屋下宿飲食店▲金二十圓廣木松信▲金一圓川西市▲金十圓森山多……造▲金十圓中村益治郎▲金二圓龍文堂▲金一圓日滿パルプ製造會社▲金……圓北滿洲金鑛株式會社▲金二圓磯野家具……張所▲金三圓井上洋服店▲金……圓世界堂▲金五圓馬廷……二圓住並苑枝▲金三圓……鐵滿洲計器股份公司▲……更科支店▲金三圓河野……路藥局▲金五圓中央飯店▲金五圓川合建築事務所員……三郎▲金五圓中西忠兵衞▲金五圓細亞商事公司▲金五圓……局▲金三圓佐々木……▲金三圓田崎治久▲金五圓安……水八百一▲金五圓奧田常吉▲金五圓平尾美明▲金十圓森田……昇二▲金十圓佐野七太……十圓槇吉次▲金五圓中……▲金二圓山武商會▲金……佐藤緋一▲金五圓……金十圓…中富平▲合計六十圓八十四錢也

告第一二六號

兵事ニ關スル屆書願書等及戶籍ニ關スル屆書ノ受付ヲ爲スベキ大使館兵事員配置個所及擔當區域ニ關シ滿洲國駐箚特命全權大使ニ於テ左表ノ通決定アリタリ

右告示ス

昭和十二年十二月一日

在新京

總領事代理　柴崎　白尾

告示第一二七號

來ル十二月二十九日ヨリ昭和十三年一月三日迄休廳ス

右告示ス

昭和十二年十二月二十四日

在新京

總領事代理　柴崎　白尾

告示第一二八號

昭和十三年一月一日午前十時半ヨリ同十一時半迄當館構內參事官々邸ニ於テ拜賀式ヲ擧行ス

右告示ス

昭和十二年十二月二十五日

在新京

總領事代理　柴崎　白尾

●配置個所及擔當區域

大使館兵事員（兵事處理官）

關東軍兵事部直轄（在新京總領事館）區域

▲新京特別市　新京首都警察廳（新京特別市長春縣）

▲奉天省　奉天警察廳（奉天市遼中縣瀋陽縣）蘇家屯警察署（蘇家屯を除く）撫順警察廳（撫順市撫順縣）鐵嶺警察廳（鐵嶺市鐵嶺縣法庫縣康平縣）開原警察廳（開原縣西豐縣）四平街警察廳（四平街市梨樹縣）遼源警務科（遼源縣雙山縣）昌圖縣警務科（昌圖縣）新民縣警務科（新民縣）遼陽警察廳（遼陽市遼陽縣）鞍山警察廳（鞍山市を除く）鞍山市大石橋警察廳（海城縣）蓋平縣警務科（蓋平縣）營口警察廳（營口市）瓦房店警察署（復縣）本溪湖警察署（本溪縣）興京縣警務科（興京縣）清原縣警務科（清原縣）海龍縣警務科（海龍縣東豐縣）西安縣警務科（西安縣）通化縣警務科（通化縣輯安縣）臨江縣警務科（臨江縣長白縣撫松縣）柳河縣警務科（柳河縣金川縣輝南縣濛江縣）

▲安東省　安東警察廳（安東市安東縣寬甸縣桓仁縣）鳳城警察署（鳳城縣）莊河縣警務科（莊河縣岫巖縣）

▲錦州省　錦州警察廳（錦州市錦縣）錦西縣警務科（錦西縣興城縣）義縣警務科（義縣）綏中縣警務科（綏中縣）……

（以下各省警察廳・警務科及擔當區域列記、略）

二、大使館兵事員は通常配置個所の冠したる兵事處理官の稱呼を用ふるものとす例へば「新京首都警察廳兵事處理官」「農安縣警務科兵事處理官」と謂ふか如し

三、大使館兵事員を配置せざる縣旗警務科及首都、奉天哈爾濱警察廳管下各警察署並范家屯、橋頭、千振警察署に在りては大使館囑託たる兵事事務取扱者を置き各大使館兵事員に隷屬せしむるものとす

失業路頭に迷ふ者　共に本會へ
人を雇ひたき者

新京東三馬路
電2 一〇八五
自彊會

馬糞器取付期間　遲滯に就て御挨拶

拜啓本年五月以來市民の皆樣より絕大なる御指導と御援助を賜り先般漸く出來致しました例の馬糞驅除器は本事業に關し去る十一月八日の日滿關係機關會同の申合に基き、愈々十二月末日を期して現存する二千六百餘台の馬車に之れを實施致すべく本組合は以來鋭意諸般の準備を急ぎつゝある際、別途大阪に註文中なりし、袋用生地は先般（十二月二日午後十一時頃）大阪港內に於て風浪のため沈沒せる艀船【仁】第一號に積載しありしため、生地の全部を流失するの災難に遇ひ此處に本計畫に大なる蹉跌を招來致しまして、之れがため前記取付豫定期日たる本年中には實施せられざることゝなりましたことは皆樣と共に殘念に存ずる次第であります、しかし流失品に對する代品は本日大阪を出荷されることになりましたので遲くも明年一月十日頃迄には新京に到着の豫定に付き一ヶ月遲れて二月十日頃迄には全部に實施出來る樣一段と努力致す覺悟でありますれば本事情に就き御諒解を御願する次第で御座います、本日先方より右海難事實を證する書狀を送つて參りましたので本組合は此處に改めて市民の皆樣に遲滯に關し謹んで御挨拶を申上ぐる次第であります

康德四年十二月十五日

新京祝町六丁目ノ二

首都乘用馬車人力車營業組合

新京市民各位

スキー座談會 (五)

"大丈夫、滑れる"こいふ自信

田口氏 初心者はどんなゲレンデをやるかといふことについて一つ

吉田氏 まあ簡單にやれるといふ所でせうね

今年から土們嶺にヒュッテが出來るさうですがさうすると土們嶺などには緩やかな所もありますし新京の人なら土們嶺等が良いと思ひますね

小秋元氏 たゞ技術的にどういふ所を選ぶかといふと問題があるのですが初歩の人がやる所は轉ばない所でやるといふことがスキーに興味を持つ一番大切のことだと思ひます、餘り難しい所を行くと初歩の人は轉ばざるを得ない、さうして一度轉ぶとその癖がつくのです、ですから最初は極くなだらかな平地に違つてゐる所を選ぶのですさうすると誰でも轉ばないといふ自信がつく、今度は少し難しい所をすべつて見る、また滑れる、かうして段々自信がついて行くのですが「この大丈夫、滑れる」といふ自信を持つことがスキーには最も大切なことゝ思ひます、さういふ點から見て最初はなだらかな所が良いのです

田中氏 新京方面からいふと土們嶺ですが、あそこに貸スキーが欲しい

松宮氏 貸スキーの話が出ましたが只今購入準備中でありますがあれは靴をつけなければならないでせうか

小池氏 内地ですとスキー場を宣傳すると各自スキーを持つて居るから良いのですが、滿洲はそんなわけにはいきませんからまあ靴だけはボーナスで買つて買ふとして、スキー丈を一日五十錢か、一圓位で貸しスキーをやつて貰ひたいと私は考へて居ります

辻村氏 僕の所で十台位買ふ積りですその外補助費が五十圓乃至七十圓で靴は自分で買つて貰ふことにしてゐます、大體それでやつてゐて段々馴れて來ると自分で買ふといふことになると思ひます

田中氏 滿洲で雪が降るかどうかといふことに懸念を抱いたり又スキーの道具が税關其の他の關係で極めて高價になることを懸念する人が多いのですが

永見氏 昨年私の所で買つたのが全部で三十九台ありましたが、それが今では殆んど折れて十二台しか殘つて居らないので今年は買はないといふ話がありましたが十二台位では仕方がないのでねだりこんで漸く大人用二十台婦人用十五台子供用五台合計三十台買ひました

只今總局と相談致しまして總局の方でも買つてくれるといふお話です

それで北山だけは私の方で間に合ひますが、今年は區域變更がありまして山城鎭も私の方に移りましたので山城鎭と土們嶺と北山に貸スキーをやらうと思ひますスキーをやらうと思ひます折られることもありますから相當豫備數も考慮致しまして差し當り小池さんとも相談致しまして日曜を利用して來られるお客さんには遲くとも退社時間の午後四時迄にビューローの方へ申込みビューローから私の方に連絡をとるといふことにして頂いてその翌日の日曜には私が朝から山に行つて出來るだけお客さんに便宜を計りたいと思つて居ります

昨年は大變折られまして申譯けないことになつたのですが折れたといふことは結局スキーヤーが增えたといふことですからね

吉田氏 今年は局員でも相當買つて居ります

小秋元氏 小秋元さん締具はフイツトフェルト式のものが良いですね、アルペン式のものは踵をつく爲に怪我が多いのです

スキーの靴は貸出しても傷まないでせう

永見氏 矢張り傷みますね

田中氏 吉林に雪が降りましたか

永見氏 さうですね、一寸位降りました、此の間の日曜に北山に行つたのですがまだ全然駄目でした、仕方がありませんから北山の行き道でやりました(つゞく)

外國旅券規則

大同二年外交部令第一號、第二號をもつて規定された外國旅券に關する規定は情勢の變化その他の理由により改正の要に迫られたので、政府では國務院令をもつて二十三日左の如く新規定を公布し明年一月一日より實施することゝなつた

□

第一條 外國旅券は國内に在りては外務局長官、國外に在りては本邦大公使、總領事及領事之を發給す

第二條 旅券の下附を申請せんとする者は左記書類を國内に在りては居住地省長(首都警察總監)管轄區域に在りては警察總監)國外に在りては前條所定の在外公館長に提出すべし

一、旅券下附願

二、身許申告書

三、外國在留者よりの呼寄に關する書信を有する者は該書信

四、其の他參考となるべき書類あるときは該書類

五、寫眞三葉(最近六月以内撮影の手札形、無帽半身、無臺紙)

當該官署長は其の認定に依り前項第二號書類の提出を省略せしむることを得

第三條 公用の爲外國に旅行せんとする者及其の同伴せんとする家族又は從者に關しては本人の所屬長官より各寫眞二葉且從者に付ては本人の身許保證書を添附して外務局長官に公用旅券の下附を請求すべし

公用の爲外國に在る者其の家族又は從者を呼寄せんとするときは前項に準ず

第四條 旅券の下附を受けたる後該旅券面記載の事項に變更を生じたるとき其の他旅券の書替を必要とするときは事由を具し第二條所定の官署長に其の書替を申請すべし

第五條 旅券の下附を受けたる者旅券發給の日附より六月以内に出發せざるときは該旅券は其の効力を失ふ

第六條 旅券の下附を受けたる者歸國したるときは該旅券は其の効力を失ふ

第七條 用務の爲本邦と特定の地との間を數次往復する必要ありと認むる者に對しては願出に依り數次往復旅券を下附することを得

前項に於ける特定の地とは當分の間ソ聯邦極東領域各地に限るものとす

本旅券は發給の日附より三年を經過したる後始めて歸國したるとき其の効力を失ふ

第八條 無效又は失效の旅券は遲滯なく旅券發給の權限ある官署長に返納すべし、有效なる旅券と雖も旅券發給の權限ある官署長よりの命令あるとき亦同じ

第九條 旅券を紛失し又は滅失したるときは直にその旨旅券發給の權限ある官署長に屆出づべし、紛失したる旅券を發見したるとき亦同じ

第十條 左の各號の一に該當する者は三月以下の徒刑又は百圓以下の罰金に處しその旅券を沒收す

一、事實に相違する記載又は申立をなしその他詐欺の行爲をもつて旅券の下附を受けたる者およびこれに補助したる者

二、他人名義の旅券を使用し又はこれを使用せしめその他不正の目的をもつて旅券を授受したる者およびこれを幇助したる者

三、本令に依り旅券を返納すべきときに之を返納せずして使用し又は事實を偽りて旅券を紛失し若は滅失したる旨を屆出でたる者

第十一條 旅券發給及書替に關しては左の手數料を徴收す

一、普通旅券　一葉毎に國幣五圓

一、數次往復旅券　同　十圓

一、旅券書替　同　一圓

前項諸手數料は外務局長官又は在外公館長に於て必要と認めたるときは之を免除することを得

第十二條 前條の手數料は收入印紙を以て納入すべし、在外公館に於ては別に定むる換算率に從ひ當該駐在國の貨幣を以て之を納付することを得

第十三條 本令は本邦内に生活の本據を有する無國籍人に之を準用す

ラヂオ

(朝)

七、五〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)

八、一〇ニュース

八、二〇朝の音樂(大連)

九、三〇子供の時間(東京)うたのおけいこ　黑澤貞子

一、宿題　森本梅雄作詞　中山晋平作曲

二、子供の兵隊さん　上田寛作詞　飯田信夫作曲

一〇、〇〇日曜禮拜(東京)＝日本メソヂスト銀座教會より中繼＝井崎淸二

一〇、四〇講演(東京)戰爭で治る病氣　醫學博士　杉田直樹

一一、一〇經濟市況(東京)

一一、二〇趣味講演　皇軍慰問川柳　安井八翠坊

一一、五九時報(東京)

(晝)

〇、三〇ニュース(東京、新京)

一、〇〇講演＝全日滿放送＝滿洲一年の回顧　大新京日報社主幹　中村猛夫

一、二〇氷上風景(京城)＝京城府漢江氷上より中繼＝擔當アナウンサー　安藤直之

一、三五琵琶　鴨川の露　藤旭鷹

二、〇〇滿洲事變及支那事變慰靈祭實況＝新京忠靈塔式場より中繼＝擔當アナウンサー　上森重治

四、〇〇ニュース(東京)ニュース・氣象通報(新京)

六、〇〇子供の時間(東京)童話リレー　小栗吉郎　小林米吉　天野雄彦

(夜)

白鬚大王

六、三〇レコード鑑賞　小夜曲ト長調　モーツアルト作

ブルーノ・ワルター指揮　ウイン・フイルハアモニック管絃樂團

第一樂章　アレグロ

第二樂章　ロマンツェ

第三樂章　メヌエツトとトリオ

終結章　ロンド

七、〇〇ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組豫告(新京)

七、三〇愛國行進曲の發表と歌唱指導(東京)＝日比谷公會堂より中繼＝

八、〇〇日滿特輯ニュース演藝(東京)

八、二五舞台劇　本藏下屋敷　裏庭の場　新京座同人

將補忠臣藏

本藏　中村駒藏

若狹之助　大谷友七郎

加古川　中村姫

三千歳　中村龍子

近習　中馬平

市川松二郎

井浪番左衛門　市川松之助

外腰元、近習

竹本達太夫　竹本龍

三味線　鶴澤友十郎

九、〇〇日獨音樂國際放送＝ドイツ・クリスマス音樂＝ベルリンより

ドイツ民謠　クリスマスの歌

外七曲　ベルリン國立合唱團

合唱

獨唱　マルガレーテ・ハイエル

九、二九時報・ニュース(東京)ニュース解說・ニュース・氣象通報・告知事項・番組豫告(新京)

一〇、二〇ニュース西放　アナウンサー　野村上

英靈祀る忠靈塔 けふ盛大な慰靈祭

國旗を掲げ必ず參拜しませう

東洋平和の礎に一身を捧げた忠勇なる日滿蒙の將兵並に關係官公吏戰歿者の大慰靈祭は本二十六日午後二時より新京忠靈塔前で植田關東軍司令官自ら祭主となり東條參謀長を祭典委員長とし全滿の神官に依り莊嚴に舉行される、この盛儀にあたり一般民衆は一死以て護國の鬼と化した英靈に深甚なる敬意を表し各戸に國旗を掲げ萬障を排して忠靈塔に參拜され度い、なほ會場の關係上各個の參拜は午後三時以後となつてゐる

德王の獅子吼に滿堂たゞ感激！

萬歳々々あじあをゆるがす

蒙疆代表等の歡迎國民大會

蒙疆聯合委員、各自治政府代表を迎へて協和會首都本部主催の歡迎國民大會は二十五日午後三時半より協和會館に於て、于協和會本部長、韓經濟部大臣、徐市長その他官民知名士多數出席のもとに

開催 せられ、定刻軍樂隊吹奏裡に德王始め于察南、夏晉北各代表が着席、呂協和會中央本部組織科長開會の辭を述べ、岳滿洲道德會理事が國民代表として歡迎の辭を披瀝し終るや、蒙古自治聯盟政府代表として壇上に立つた德王は萬雷の拍手に答へつゝ底力のある莊重な聲で左の如く熱辯三十分民族運動の先覺者としての眞骨頂を遺憾なく發揮した

關東軍並びに滿洲帝國の絶大なる援助のおかげで吾等蒙古民族は漸くその失地を取り戻した、私の今度の滿洲國訪問けそのお禮に參つたのであります、新京以來各方面から光榮身に餘る招待や歡迎をして頂き、今日は又斯くの如き盛大なる國民大會迄開いて頂いて全く感謝の他はありません、この壇上に立つて今私は思ふこの大亞細亞洲は亞細亞のものであり、つまり亞細亞の原住民族のものである、それと同時にこれ等の民族が責任をもつて亞細亞を護り統轄して行かねばならないのだ、蒙古には今からも七百年程前にヂンギスカン現れ東洋は勿論世界の大部分をその勢力下に入れた、然しそれは昔のことだ今はいふまい、今日では日本帝國が皇軍を支那に派し惡軍閥をやつつけ、共産主義を撲滅しつゝある、今こそ血で繋がれた吾等東洋民族は日本を中心として進むべき秋だ、これが私の覺悟であり所懷の全部である

續いて察南自治政府代表于品卿氏、晉北自治政府代表夏恭氏等が交々起つて所懷を述べ聽衆を大いに

感動 せしめ、最後に蒙疆聯合委員會各自治政府萬歳 大日本帝國萬歳、滿洲帝國萬歳を三唱、呂協和會中央本部組織科長の閉會の辭があつて閉會、軍樂隊吹奏裡に一同退席、五時より引續き映畫上映、春風萬里蒙古大會、蒙古ニュース、國都建設記念大會等のニュースを映寫六時過ぎ意義深く閉會した（寫眞は德王の熱辯振り）

戰捷色に塗りつぶされたクリスマスの上海

日本人街空前の賑ひ

【上海廿五日發國通】首都南京を失つた上海のクリスマス・イーヴは戰捷國と戰敗國と更に第三國の醸し出す複雜な雰圍氣でその奇妙な國際的な一夜を色どつた、まづ

虹口 の日本人街、此處は相變らずの燈火管制だが、廿四日夜來點火され黒い覆ひをかけた街燈が次々に弱い光を投げ、平常午後十一時までの通行がこの夜は特に終夜許されクリスマスに戰捷祝賀の朗かさが加はりカフエー、バー等は賑やかな感じで一杯だ、クリスマスの飾りつけも女給の着物も地味であるが誰も彼も大機嫌で乾杯々々、軍歌の合唱で大變な賑かさだ、外人が一緒に覺束なげに軍歌を唄ふのも嬉しさうである、ガーデン・ブリッヂの舊英租界の繁華街南京路にはさすが例年の賑かさはなく二、三のデパートのクリスマス・ツリー、バスの廣告飾りつけが見えるが、一般商店は何とも言はれぬ暗い表情だ、街行く支那人の群も寒げに背中を丸くしてゐる、朗かな笑聲は殆どなく人の通るのを下目で窺ふ支那人の樣子が街一杯に感じられる、上海戰勃發當時支那空軍の盲爆に傷められたカセイホテルやパレスホテルはもうすつかり元通りの姿に

歸り 押し寄せた外人男女の群がもの哀れな南京路の中にわれ關せずとクリスマス・イーヴを樂んでゐる、豪華なクリスマス・ツリー、大きなクリスマス・ケーキ、タキシード、イヴニングドレスの客はホール一杯に溢れ上海の夜は更ける、外人男女に交つて多數の支那男女が祖國の姿にお構ひなしにステップを踏んでゐる、フランス租界、此處には戰爭の影もない、例年通りのクリスマス、外人達は夫々七面鳥を喰つて樂し氣だ、映畫館も大入りだ、ハイアライも大盛況、店主等もこの日ばかりはと張切つてゐる、しかし此處にも支那人は外人よりも遙かに多く金を追つて血眼の姿に亡國の民の淺間しさがその儘に現れてゐる、盲爆の犧牲になつた大世界は未だに復舊せず明るい街頭には

曾て の面影もなく眞黒に沈默してクリスマス・イーヴは各種各樣の色とりどりに更けて行つた

張家口に咲く親善の先驅者

察南政府の杜委員夫妻

支那事變で動亂の地と化した北支も皇軍の寧日なき奮戰に再び平和郷に立返つたが、事變勃發以來支那軍の迫害をものともせず抗日意識を吹込まれた民衆に對し正義皇軍出師の眞相を徹底せしめようと奔命した北支政界の一有力者夫妻の逸話が今回晴れの國都入りをした德王一行によつて齎された □

話題の主は一行中の察南自治政府最高委員杜運宇氏（三三）と嘉津子夫人（二六）だ、本年八月張家口に二十九路軍が蟠居して民心を脅やかしつゝあつた頃正義日本の眞の理解者であつた夫君杜氏は日夜寢食を忘れて平和解決に奔走しまた嘉津子夫人は軍閥の抗日宣傳に迷はされた無知の民衆に日本の軍隊は無辜の民衆を傷けるものでなく、眞の平和の愛好者であることを語り聽かせるなど夫君を助けて涙ぐましい努力を續けて來たもので、暴虐支那軍のため戰禍に捲込まれ財貨を失つた民衆がその悲運に叩きのめされることなく、皇軍入城後はその翼の下に晏如として復興の意氣に燃え遂に蔣政權の覊絆を脱し新政府誕生の明朗色に生き返つた蔭には杜夫妻の涙ぐましい努力が預つて力があるものとされてゐる □

なほ嘉津子夫人は東京日本橋生れの生粹の江戸ッ子で昭和二年頃東京の早稻田大學政經學部に留學中であつた杜氏とふとした機縁で知り合ひ昭和三年杜氏が早大を卒業すると同時に結婚、手を携へて張家口に赴き爾來九ケ年の永い間夫君の良き理解者としてまたよき妻として今日に及んだもので、長男澄夫（七ツ）長女敏（五ツ）次女絹（一ツ）の愛兒がある、夫君とゝもに滯在中の國都ホテルを訪れるとピッタリ合つた支那服をまとつた嘉津子夫人は江戸ッ子らしい歯切れの良い言葉で次の如く語つた □

日本軍の張家口入城前は二十九路軍が亂暴で困りました、何にも知らない罪もない人達を隨分ひどい目に合せ頻りに抗日意識を吹き込んでゐましたので、私達も説得に骨を折りましたが皇軍入城後はその嚴肅な軍紀をまのあたりに見、またその溫情に接し民衆の親日的な氣分はぐんぐん濃厚となり今ではもうすつかり平和郷を現出してゐます、私も主人のところへ參つた頃は言葉は分らないし、食物は口に合はない、それに支那の家族制度にも慣れず本當の頃は淋しかつたのですが、この頃ではもう日本のことは考へません、張家口は氣候は良いし人々は純朴で本當に良い處ですわ、日本人の男の人が支那の娘さんとどしどし結婚なさるやうになれば本當の日支協和の精神が培はれるんですがねえ、東京を離れる頃は十八歳でしたから夢中で來てしまひましたが今では却つて良かつたと思つてゐます、主人とのロマンスですか？別段お話しするやうなこともありません（寫眞は同夫人）

パ號代艦建造費を無名氏から寄託

駐滿海軍部へ本社經由

米艦パ號誤認爆撃事件は悲しむべき出來事として日本國民の關心はいよいよ熾烈に女學生米大使訪問、或は代艦建造費寄附、罹災者弔慰金醵出等々、涙ぐましい美談佳話が傳へられつゝあり先にはダイヤ街の扇芳會館がクリスマス、正月等ホールの裝飾費を切詰め百五十圓を本紙を通じ駐滿海軍部へパ號代艦建造を寄附したが、二十五日本社を訪れたダイヤ街居住の某氏はやはりパ號代艦建造費へ金五十圓寄附の申込みがあり、本社では便宜駐滿海軍部へ納入することゝした

新京聖歌隊獻金

新京朝鮮人監理教會より成る新京聯合聖歌隊廿名は、廿四日午後五時廿分より廿五分間にわたりクリスマス祝賀合唱放送を行つたが、放送後謝禮金廿圓を全部皇軍慰問金として獻金する旨申出たので、一同の美擧に感激した長谷川放送局長は廿五日軍司令部に出頭早速獻金の手續を取つた、なほ同聖歌隊は前にも出征皇軍武運長久特別祈禱週間を催したり皇軍慰問獻金をしたり美談續きの聖歌隊である

圖書館の休館

中央通新京特別市圖書館年末年始休館は左の如く決定した

▲年末休館自十二月二十八日至三十一日

▲年始休館自五年一月一日至三日

西本願寺行事

日曜學校……午前十時より

日曜講演……午後二時

演題「不滅の希望」森正隆男

演題「信仰の生活」光岡慈昭

來聽歡迎

各列車で遺族入京

全滿大慰靈祭に參列する遺族は廿五日午後より各列車毎に到着を見たが、國防婦人會では停車場司令部、宿舍日滿軍人會館に會員を派遣して出迎へ及び接待に努めた、廿六日も續行する外市内見物の案内をも行ひ遺族を慰めるが、祭典にも同會代表十名が參列することになつてゐる

赤誠こもつて八百圓 警察官一同獻金

于總監が代表けふ關東軍へ

既報、年末年始の冗費を節約してこれを國防費に獻金し非常時局下警察官の意氣を示さんと計畫した首都警察廳及管下各警察署は全員一致のもとに十二月分俸給から日系警察官百分の一、滿系警察官警尉補以上百分の一、警長、警士二百分の一の割合を以て醵出この金七百八十四圓九十九錢を二十五日取纏め于警察總監は國都全警察官を代表して午後關東軍を訪問獻納した、尚各署醵出金は左の通りである

署	金額
本廳	二九五圓八四
中央通署	二三五、三九
大經路署	五八、五八
四道街署	四三、〇六
長通路署	四一、六一
南關署	三二、五一
寬城子署	三八、〇二
祝町署	一二、三六
長春大街署	一七、六二

東方國民文庫

日滿文化協會では來る廿七日午後六時より中銀倶樂部において榮厚參議、藤山民生部囑託、長谷川放送局長はじめ文化方面の權威者を招き「東方國民文庫」の刊行披露をかねて種々文化施設に關する意見の交換を行ふ

滿鐵兩産業部次長轉出後も滿鐵囑託に

【大連國通】滿鐵では廿三日の重役會議に於て廿七日の創立總會によつて滿洲重工業開發會社重役として轉出する奥村、世良兩産業部次長は殘務整理のため轉出後も滿鐵囑託として置くことに決定した

故岡田中佐等慰靈祭

けふ四平街で

去る七月十八日狂暴なる匪首王仁齋の率ゆる百の匪團と遭遇、勇戰奮鬪の後壯烈なる戰死をとげた岡田中佐以下の復仇のため、大澤部隊はじめ各部隊は日滿各機關と協力涙ぐましい活動を續けてゐたが去月二十七日大澤部隊指揮下の木村上尉の指揮する治安隊は清原縣第一區牛肺子溝において該匪團を奇襲、匪首王仁齋以下七名を射殺して偉功を奏し、報復も完全に行はれたので廿六日午前十時より四平街大澤部隊において盛大な慰靈祭を施行することゝなつた

理髪業者仕事延長

新京日滿理髪業組合の營業時間は午前九時から午後九時までゞあるが年末多忙となつたので二十五日から大晦日まで時間に制限なく大に腕をふるひふだんの愛顧にむくゆるさうである

水道に注意 不在中の凍結

十二月二十九日から來年一月三日迄新京市公署は定休日となるから水道故障の修理申込みは新市街市公署水道科電二―一一一〇、指定請負人大信洋行二―一八七八二四―九五二舊附屬地綜合事務所三―六九九〇、指定請負人千々岩工務所三―五九一〇、新市街は國都建設局水道科晝間給水閉閉申込二―四二三〇、故障修理申込み二―一〇八九夜間二―四七四二、指定請負人大信洋行二―四九五二、鈴木組二―一六三二、尚移轉旅行その他の都合で不在となる場合は留守中水道管凍結のおそれがあるから右の樣な場合は特に一時給水中止の手續を怠らずやつて欲しいと

寒さと人体の適應力を研究

正路倫之助博士等昨夜來京

京都帝大生理學教授正路倫之助博士は「滿洲の寒氣に對する人體の適應力に關する研究」といふ題名の下に生理的見地からの人體の耐寒力を實驗する珍しい研究の爲に助手小菅武夫、川畑愛浩、藤本富太郎三氏と共に實驗機械多數を携帶して廿五日午後六時廿分新京驛着あじあで來京した此の研究は日本學術振興會より全費用の提供を受けてゐて從來は軍部では相當研究されてゐた模樣であつたが民間では最初ともいふべき試みで約三週間の豫定を以て新京滿鐵醫院、哈爾濱市政公署衞生科の援助の下に實驗を行ふが其の結果は滿洲における冬季生活に重大なる指示を與へるものとして期待されてゐる、正路博士は左の如く語つた

零下何十度の滿洲の酷寒が人體の血液、呼吸、循環の三作用に生理的見地からどんな反應を見せるかを實驗するので、種々の設備を必要とするので滿鐵醫院等で行ふが實驗體は四人がお互にやるのです、どうしても他人を使用すると學究的不安を感じますからね、かうした研究は軍部で相當やつてゐられる模樣だが民間では最初と思つてゐます、相當寒いね、實驗には持つてこいの氣溫だ

天氣と氣溫

けふの天氣　西の風晴

日の出　前八時一二分

日の入　後五時一六分

月の出　前一時五九分

月の入　後〇時四八分

きのふの氣溫　最高零下一六度四　最低零下三度九

荊妻タケヨ儀豫而滿鐵新京醫院入院加療中の處病革り二十三日午後四時四十五分死去致候間此段謹告仕候

追而葬儀は二十七日午後二時記念公會堂に於て佛式に依り相營み可申候

昭和十二年十二月二十六日

夫 大久保敏夫

親戚總代 佐竹メ太郎 加悦宇八郎

友人總代 辻松太郎 堀内一雄

入船區代表 淺井庄一郎

義人長七郎

（映畫化上演）中川雨之助
竹枝一郎畫

（百四十四）

裏と裏（二）

奥の茶の間では、ちやうどその時、お銀がやつて來て、主人の寅との間に話しが絡んでゐました。

寅は、腹半分を、晒木綿でグル／＼巻にして居ます。

それは、昨夜番所の武士にやられた傷が、意外に深手だつたので、けふは朝から醫者を呼ぶやら、薬を塗るやらで大騒ぎだつたのです。

さすがに火の玉の親分も、今日は一向に氣勢が揚りません。

「御免なさい。怒らないでね、親分。あたしや、まつたく、そんなつもりぢやなかつたんですもの……」

お銀は、きまり悪さうにして、平あやまりに、あやまつて居るのです。

「フン、なんだか知らねえが、相手が、ずゐぶん無抵抗だつたぢやねえか」

寅は、ひどく御冠りが曲つてゐるのでした。

「俺たちを手引して置きながら、肝腎のそのおめえが、俺たちの目の前で、男を口説き初めるなんて、臆面もなく、よくもそんな圖々しい眞似が出來たもんだ」

南京寅は苦い顔を横にして、煙草を吹かすのです。

「あら嘘ですよ。男を口説くなんて、誰がそんなことをおほゝゝゝほ」

お銀は、笑ひに紛らさうとするのです。

「いけねえ／＼、手前らしくもねえ、綺麗に白状するが宜いぢやねえか。あれで男が、ウンといはなかつたから宜いやうなものゝ、もしも靡きでもしようものなら、それこそ手前は、あべこべに、俺たちを裏切つて、深みへ突込む料簡だつたのだらう。それぢやあ、あんまりムゴいといふものだぜ」

急所を衝かれて、お銀が返辭に困つてゐると、其處へ子分の一人が、目の色を變へて、あわただしく飛込んで來ました。

「親分、大變だ、來ましたぜ來ましたぜ」

「エヽ騒々しいや、靜かにしろいツ。一體何が來たといつて泡食つて困やがるんでえ」

「昨夜の御行の松、あの一件が來たんですよ」

「なにツ。來たか……？」

寅と、お銀とは、忽ち眼の色まで變へてしまひました。

「そして來たのは一人か……？」

寅は、もう中腰になつて、スツカリ落つきを失つてゐます。

「いゝえ。二人です」

「なに二人！……そして、もう一人は誰だ？—」

「柳組の浪人です。この間の喧嘩の相手です」

「きさま、其奴等に、一體何處で遭つたのだ」

「二丁ほど前の漬物屋の前で遭ひました」

「それが家へ來るといふことが、どうして手前に分つたんだ」

「そりや、二人で此方へ來るからにや、多分仕返しに乗込んで來たたらうと思つて」

「馬鹿野郎、人騒がせも宜い加減に仕ろいツ！　天下の往來ぢやねえか、こちらへ來たからといつてあながち家へ來ると、きまつた譯のものぢやねえ」

さういつて、自分で自分に、氣休めをいはなければならないほど寅はもう不安でならなかつたのです。

そして運の浪人といふのが、昨夜の強い侍の主なのでは無からうかと思ふと、一層午睡がモゾモゾとして來るのです。